

BUDŌ

NEWS

今月のニュース

高松宮記念杯争奪 第23回全日本銃剣道選手権大会



酒井健全日本銃剣道連盟会長から高松宮記念杯を受ける市原茂錬士七段



2回戦＝市原（右）のノドが決まる

高松宮記念杯争奪 第23回全日本銃剣道選手権大会



市原茂（熊本）が盟友対決を制し初優勝

高松宮記念杯争奪第23回全日本銃剣道選手権大会（主催Ⅱ全日本銃剣道連盟）が、8月7日、日本武道館で開催された。前回入賞者と都道府県予選を勝ち上がった計64名の選手が出場し、銃剣道日本一を争って手に汗握る試合を繰り広げた。

決勝は、市原茂錬士七段（熊本）と前回大会3位の齋藤孝教士七段（高知）のベテラン同士の対戦となり、市原が延長戦の末、齋藤に一本勝ちして優勝に輝いた。3位には、角康大錬士六段（沖縄）、伊藤裕慎錬士六段（山形）が入賞した。

試合はトーナメント方式で行われ、5分間3本勝負、時間内に勝負が決しない場合は時間無制限の延長戦で勝敗を決する。

4回戦進出者は、第1ブロックから前回3位の齋藤孝（高知）、北慎一郎（長崎）、第2ブロックから、竹島慎一郎（鹿児島）、角康大（沖縄）、第3ブロックから本大会初出場の伊藤裕慎（山形）と本村和義（山口）。第4ブロックから竹中救利（福岡）、本大会3位入賞歴のある市原茂（熊本）が、顔を揃えた。

◆4回戦

齋藤 孝 ノ下―下 北 慎一郎

開始早々、両者は激しい技の応酬を繰り広げ、ぶつかり合う。開始2分後、齋藤が近間で攻防から離れ際に即座に体制を整え、北が守りに入る隙もないまま、素早くノドを突く。二本目、反撃の機会を狙う北は遠間から技を出し、齋藤の手元が上がったところで下胴を奪った。試合終了間近、齋藤が北の出端に下胴を合わせて一本を決め辛勝。



4回戦第1 試合＝齋藤（左）の下胴が決まって勝負あり

角 康大 下上― 竹島慎一郎

軽快な足捌きで突きを繰り出す竹島に対し、角はしっかりと構えて力強く攻める。開始1分、角が遠間から技を出す竹島を冷静にすかし、下胴を決めて先制。途中、角の小手の不具合で試合が止まる。試合が再開すると、近間になったところで角が竹島の木銃を捌いて、離れ際に押し込むように上胴を突く。完勝した角は初の準決勝進出を果たした。



4回戦第2 試合＝角（左）が果敢に攻める

伊藤裕慎 下下― 本村和義

伊藤は、前回ベスト8の原田将興を降し、一方の本村は、前回3位の久保田幸希を破った渡邊和行に勝利するなど、互いに初出場ながら健闘し、4回戦に顔を並べた。

試合中盤、伊藤と本村が間合をとって、互いにほぼ同時に技を繰り出したが、伊藤の腰を落として放った下胴が決まる。二本目、伊藤が本村に合わせ、再び下胴を決めて、準決勝に進んだ。



4回戦第3 試合＝伊藤（左）が攻める

市原 茂 コ上―上 竹中救利

試合中盤、市原がフェイントをかけてコテを突く。後がなくなった竹中は積極的に攻めていく。竹中は大きく下がった市原に対して、遠間から思い切った上胴を奪う。そのまま終了時間を迎え、延長戦へ。

慎重な動きで試合が膠着する中、市原が間合を図って、再びフェイントをかけて、竹中の裏から上胴を奪った。市原が20分に及ぶ延長戦を制して、準決勝に駒を進めた。



4回戦第4 試合＝市原（左）がコテで先制した

準決勝第1試合＝齋藤（左）が二本目の上胴で角を破る



準決勝第2試合＝市原（左）が上胴を決める



◆準決勝

齋藤 孝 上上ー 角 康大

遠間からリーチの長さを活かして攻めてくる角に対して、相手に詰め寄り応戦する齋藤。開始から4分30秒経過すると、齋藤が角の出端に脱突を決めて先制。

その後、一旦は後退した齋藤が、じりじり前へと攻めていき、角が守りに入ったところに押し込むように上胴を突いて一本を奪う。齋藤は頭一つ上背の角にひるむことなく、確実に二本を決めて決勝に進んだ。

市原 茂 上上ー 伊藤裕慎

伊藤は前後にステップを踏むように動きながら積極的に攻めていく。対する市原は伊藤の動きに動じず臨機応変に対応していた。互いに牽制し合つとともに技が出ない中、先手を打ったのは市原。3本連続の突きで、伊藤の動きを制したところ、3本目で上胴を決める。

その後も攻め合う両者だったが、市原が伊藤の突きを冷静に捌いて、上胴を再び決め、決勝進出を決めた。



決勝戦＝延長戦の末に市原（右）が上胴を決めて優勝した

◆ 決勝

市原 茂 上ー 齋藤 孝

決勝戦は、市原と齋藤の対決。両者5度目の本大会出場。過去同じ部隊に所属したこともある盟友同士が決勝の舞台に立った。

開始早々、果敢に前に出たのは市原。互いに間合を詰め、木銃を捌くがなかなか技が出せない。一進一退の攻防が続くが、互いに一本を決められないまま時間が経過。延長戦にもつれこむ。

延長戦開始早々、齋藤が離れ際から上胴で攻めるが決まらず。しばらく近間からの攻防が続く。5分後、試合が動く。齋藤が上胴を狙い前に出たところ、すかさず市原が齋藤の木銃を押し込んで上胴を決めて勝負あり。10分を越える延長戦の末、市原が日本一の栄冠を手にした。



満面の笑みを浮かべる市原



閉会式



特別演武「銃剣道の形」
打方・田代勝教士八段、仕方・坂元誠教士七段

克己不屈の精神で銃剣道日本一

◎優勝Ⅱ市原茂選手（熊本）

仲間には捧げた初優勝

「座右の銘は克己不屈。一戦一戦、目の前の相手と戦うことだけを意識して、相手を見抜くとか、どういう剣を遣うとかは一切考えず、自分の剣を遣うことだけを意識しました」所属する42普連を鼓舞する意味でも勝利に繋げたかったという。

「非常に厳しい訓練環境の中、若手

今では互角に戦えるまでになり、どうにか盛り返すことができました」

市原は勝負の山場をこう語った。

「全ての試合が山場でした。特に4回戦での竹中選手は、剣数が多く、気持ちは強く、体が大きい相手にもひるまない。その彼を前に、まだ世代交代はさせないぞという気持ちでした。終始、相手の剣に威圧させられましたが、延長戦の末に、どうにか一本が決まりました」

厳しい戦いを乗り越えられたのには、同じ気持ちで勝ち上がった盟友、齋藤の存在があった。

「齋藤選手とは家族ぐるみの付き合いもあり、すごく感謝しています」

銃剣道の魅力とは

自衛隊入隊後に始めた銃剣道。

「きっかけは、青少年から銃剣道を続けている金子選手の誘いです。初めは乗り気ではなかったのですが、仲間がいたから続けられています」それから16年間銃剣道を続けています。その魅力とは…。

「力がなくて体がちっちゃくても努力次第ではどうにかなる。体格差は関係ない。小さい者から大きい者までみんなにチャンスがある。誰もが楽しくできる武道だと思います」

◎第2位Ⅱ齋藤孝選手（高知）

「市原選手とは高知の部隊で2年ほど前に一緒に稽古していた仲だったんです。同級生なんですよ。まさか決勝の舞台で戦うとは思っていませんでした。勝負に出た技を返されて負けたので、悔しいですけど気持ちはスッキリしています。稽古が足りませんね。今大会で終わりのつもりでしたが、来年の目標ができたので、怪我しないよう頑張ります」

◎第3位Ⅱ角康大選手（沖縄）

「来年また頑張りますという気持ちです。優勝を狙っていたので、今日の結果については満足していません。齋藤選手との準決勝では、足の裏の皮が剥けてしまい、踏み込みが思うようにできず、悔しいです。これが自分の実力ですね。熊本から沖縄に転属となったので、沖縄の銃剣道を強くしたいです」

◎第3位Ⅱ伊藤裕慎選手（山形）

「初めての大会出場で、誰と当たってもこういう場所や環境で試合ができるというのは本当に幸せなことだと感じました。今後は個人だけでなく部隊としても結果を残せるように頑張りたいと思います」

◎ベスト8Ⅱ北慎一郎選手（長崎）

「4回戦では自分も一本決めていたのに悔しい気持ちでいっぱいです。相手の齋藤選手は前の部隊の先輩です。お

互いによく知った仲での戦いだっただけで簡単には勝てませんでした。齋藤選手に勝つまでは挑戦し続けたいです」

◎ベスト8Ⅱ竹島慎一郎選手（鹿児島）

「今まで練習した成果が多少なりとも出せたかなとは思っています。4回戦で対戦した角選手は、長身なので攻めるところはありましたが、リーチの長さに苦戦しました。そこをもう少し考えて戦えば良かったです。今後は全ての大会で優勝するつもりで頑張ります」

◎ベスト8Ⅱ本村和義選手（山口）

「嬉しい反面、悔しい気持ちもあります。疲れもあつたので、とりあえず悔いは残さないように、どんなきつくなっても我慢して、チャンスがある時は必ずものにしようという気持ちでやりました。もう一回自分を一から見つめ直して、指導者の教えを聞いて、来年またこの大会に出られるように頑張りたいと思います」

◎ベスト8Ⅱ竹中救利選手（福岡）

「ここまで来たら気持ちの問題だったと思います。今まで市原選手には勝つことがなくて、今日こそはなんとか勝つてやろうという気持ちで臨みました。しかし、やっぱり最後の最後は経験の差が出ましたね。ほんの一瞬のところで突かれてしまいました。まだまだ訓練が足りないことを痛感しました。常に先輩方を目標にしているの

盟友との対戦

決勝は、齋藤孝との対戦。昔はまったく歯が立たない相手だった。

「齋藤選手が長崎16普連の大將、私が熊本42普連の大將だった頃から、長く戦い合った仲です。その頃、私は彼の足下にも及びませんでした。その後、同じ部隊で切磋琢磨し合い、

第23回 全日本銃剣道選手権大会

称号 段位	出場 回数	氏 名	都道府県	称号 段位	出場 回数	氏 名	都道府県
教七 5		齋藤 孝 (高 知)		錬六 4		高橋 克徳 (茨 城)	
錬六 初		伊藤 堅太 (秋 田)		教七 初		重松 哲士 (高 知)	
錬六 4		東川 智彦 (福 井)		錬六 初		伊藤 裕慎 (山 形)	
教七 3		園田 浩臣 (宮 崎)		錬六 2		原田 将興 (熊 本)	
教七 初		長谷川英昭 (群 馬)		錬六 初		板垣 翔太 (北海道)	
錬六 2		平島 直樹 (福 岡)		錬六 初		鈴木 優太 (愛 知)	
教七 5		幸野 哲宏 (奈 良)		錬六 2		佐々木 昇 (島 根)	
錬六 2		小倉 弘之 (静 岡)		錬六 2		川本 忍 (福 岡)	
錬六 2		縄田剛太郎 (埼 玉)		錬六 2		平 裕任 (兵 庫)	
錬六 2		北 慎一郎 (長 崎)		錬六 初		小貫 学 (埼 玉)	
錬六 2		秋元 伸幸 (北海道)		錬六 3		阪本 正範 (長 野)	
錬六 5		齋藤 慎一 (福 島)		錬六 初		本村 和義 (山 口)	
錬六 4		南脇 章吾 (香 川)		錬六 初		田中 信仁 (岐 阜)	
錬六 初		竹内 良太 (岡 山)		錬六 3		久保田幸希 (鹿児島)	
錬六 2		松瀬 賢映 (滋 賀)		錬六 2		丸山 辰也 (山 梨)	
錬六 初		西村 健一 (大 分)		錬六 4		渡邊 和行 (青 森)	
教七 6		荻田 修弘 (神奈川)		教七 初		山口 創 (神奈川)	
錬七 7		田尻 竜三 (熊 本)		錬六 初		金坂 大輔 (鳥 取)	
錬六 3		森 純一 (宮 城)		錬六 初		中武 裕章 (宮 崎)	
錬六 5		土谷 一裕 (和歌山)		錬六 2		増本 和也 (北海道)	
錬六 3		竹島慎一郎 (鹿児島)		錬六 2		菅野 学 (福 島)	
錬六 初		飛田 英司 (広 島)		錬六 2		竹中 救利 (福 岡)	
錬六 2		川村 貴嗣 (東 京)		教七 4		石川 治樹 (石 川)	
錬六 初		山田 吏 (北海道)		錬六 初		黒石 真二 (京 都)	
錬六 6		角 康大 (沖 縄)		錬六 3		梶原 千春 (大 阪)	
錬六 2		栗原 惇 (千 葉)		錬七 5		市原 茂 (熊 本)	
錬六 初		遠山 馨 (三 重)		錬六 3		大庭 勇希 (栃 木)	
教七 7		芳賀 淳一 (岩 手)		錬六 4		竹村 和剛 (愛 媛)	
教七 7		加藤 久幸 (高 知)		錬六 2		小野 雄大 (宮 城)	
錬六 2		箕輪 卓 (新 潟)		錬六 初		栗原 毅 (静 岡)	
錬六 2		中谷 和彦 (山 口)		錬七 7		廣瀬 敬久 (富 山)	
錬六 2		山内 孝地 (北海道)		錬六 2		蘭田 泰之 (長 崎)	

優勝
市原 茂

準優勝
第3位
伊藤 裕慎 齋藤 康大 角 孝



役員と入賞選手

(前列左から角康大選手、市原茂選手、齋藤孝選手、伊藤裕慎選手)

また勝負できたらと思います」
◎前年度優勝Ⅱ園田泰之選手(長崎)
「悔しかったですね。試合中は、前年度優勝したというプレッシャーは感じませんでした。不思議と試合では自分のことを含めて周りのことがよく見えています。隣の試合場で誰が試合をしているのか、上から誰が声援してくれているかが聞こえていました。しかしそれが、試合に集中できていたのか、いなかったのか自分でも分かりません。来年は優勝目指して頑張ります」

第46回全日本青年銃剣道大会

団体戦青年第1部

40 普連 A (福岡) が 4 度目の優勝



団体戦青年第1部決勝、中堅戦＝
40 普連 A・蛭原（左）が 32 普連 A・森山（右）に下胴を決める

第46回全日本青年銃剣道大会（主催＝全日本銃剣道連盟）が8月6日に、日本武道館で開催された。

全国の子選を勝ち抜いた約1500名（監督含む）が出場し、団体戦青年第1部（21チーム選手・監督850名）、団体戦青年第2部（142チーム、同530名）、女子個人戦（同98名）の3部門で白熱した試合が展開された。

団体戦青年第1部は第40普通科連隊 A（福岡）が通算4度目の優勝。

第2部は、第15普通科連隊（香川）が3度目の優勝を果たした。

女子個人戦は、藤江希（第303ダンブ車両中隊・北海道）が初優勝に輝いた。

■団体戦（3人制）

試合はトーナメント方式、3分三本勝負。試合時間内に勝負が決しない場合は判定により勝敗を決し、勝者数の多い方を勝ちとし競われた。

▽青年第1部（高校生を除く15歳～

30歳、自衛官は21歳～25歳）

前回優勝の26普連（北海道）は3回戦で敗れた。

熱戦が繰り広げられる中、準決勝

には、16普連（長崎）、32普連 A（埼玉）、40普連 A（福岡）、34普連 B（静岡）が勝ち上がった。32普連 A（埼玉）は16普連（長崎）を2―1で、40普連 A（福岡）は34普連 B（静岡）を3―0で破り、決勝に勝ち進んだ。

決勝は40普連 A（福岡）と32普連 A（埼玉）の対戦となった。

先鋒戦、40普連 A・西田知弘が32普連 A・吉田正也から上胴を決め、先取。続けざまに下胴も決め、2本勝ちした。

中堅戦では、40普連 A・蛭原玄太が32普連 A・森山駿の突きを躲し、下胴を先制。森山も激しく攻めるものの、再び蛭原の下胴が決まり勝利をおさめ、40普連 Aが優勝を果たした。

大将戦、32普連 A・佐藤剛は準決勝での怪我が原因で試合を棄権、40普連 A・田原頌胤の不戦勝が決り、勝者数を3―0とした。

◎優勝 40 普連 A・松富敬監督

「決勝戦での相手、32普連は強豪と聞いていたので、苦戦するとは想定しておりました。しかし、こちらも万全の態勢で挑みました。優勝できて本当に嬉しいです」



女子個人戦決勝＝藤江（右）が山口（左）を攻める



青年第2部決勝、中堅戦＝15普連・村上（右）が下胴を決める



女子個人戦優勝＝
藤江希選手(303ダンプ)



青年第2部優勝＝第15普通科連隊（香川）



青年第1部優勝＝第40普通科連隊A（福岡）

▽青年第2部（高校生を除く15歳～21歳）
決勝は、15普連（香川）と32普連（埼玉）が対戦。

先鋒戦、15普連・増本秀信と32普連・加藤芳樹の対決は、判定の末に増本が勝利。中堅戦、15普連・村上友亮の下胴が32普連・吉山知磨に決まり、先取。後がない吉山は上胴、下胴と果敢に攻める。しかし、最後は村上が下胴を決め、15普連が第2部を制した。

大将戦は、15普連・田嶋航大が、32普連・御園翔から下胴を奪い、勝者数3―0とした。

◎優勝Ⅱ15普連・元山圭太郎監督

「選手3人とも頑張り、苦しい練習を耐え、勝ち得た優勝でした。第2部で優勝したので、次は第1部でも優勝できるように今後も練習に取り組みたいです」

■女子個人戦

ベスト4には、藤江希（303ダンプ）、中野渡弥生（本間道場）、山口あや子（郡山）、竹ヶ原麻衣（16普連）が勝ち上がり、覇を競った。

準決勝、藤江が中野渡を、山口が

前年度優勝者の竹ヶ原を、それぞれ判定で破り、決勝に進んだ。

決勝では藤江と山口が対決。互いに譲らず激しい攻防が続くが、藤江が上胴を先制。そのまま時間となり、藤江が初優勝に輝いた。

◎優勝Ⅱ藤江希選手（303ダンプ）

「練習する時間が少ない環境下でも女性自衛官の同期と後輩に協力してもらい練習してきました。様々な方たちに支援してもらい、勝ち得た優勝でした」

【大会結果】

◇団体戦

▽青年第1部Ⅱ①40普連A（福岡）②32普連A（埼玉）③16普連（長崎）、34普連B（静岡）

▽青年第2部①15普連（香川）②32普連（埼玉）、③4特連（福岡）、34普連（静岡）

◇女子個人戦

優勝Ⅱ藤江 希（303ダンプ）
2位Ⅱ山口あや子（郡山）
3位Ⅱ中野渡弥生（本間道場）
竹ヶ原麻衣（16普連）

日本武道館の単行本

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

マンガ・武道のすすめ

(B5判・236頁)

マンガ・武道のすすめ

田代しんたろう



日本武道館

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」を単行本化!

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道・古武道の各先生方に毎回直接インタビュー取材し、武道の良さ、すばらしさをおもしろく、わかりやすく、描いています。

大人も子どもも読んで楽しく、ためになる武道教養マンガ。

《目次》

序章 武道のすすめ

松永光(日本武道館)／高村正彦(武道議員連盟)／有松育子(文部科学省)

第1章 いざ! 武道の世界へ

第2章 柔道のすすめ
大澤慶己／長谷川博之／腹巻宏一／吉村和郎／山内直人

第3章 剣道のすすめ
森島健男／角正武／千田重光／井上茂明／小林知洋

第4章 弓道のすすめ
森永良雄／吉本清信／宇佐美義光／柴田猛／大和田正孝

第5章 相撲のすすめ
塔尾武夫／住吉和則／下村勝彦／安井和男

第6章 空手道のすすめ
金城裕／長谷川伸一／安里廣之／山本英雄／大石武士

第7章 合気道のすすめ
多田宏／磯山博／菅沼守人／珠玖仁

第8章 少林寺拳法のすすめ
合田清一／阿達美恵子／八巻哲／松浦哲也

第9章 なぎなたのすすめ
澤田花江／梶山武子／一川治子／左村美穂子／大津博美

第10章 銃剣道のすすめ
桑原正治／兼坂弘道／遠藤守／石川慎也／北村弘之

第11章 古武道のすすめ
竹内藤十郎(柔術)／笹森建美(剣術)／加藤伊三男(槍術)／小笠原清忠(馬術)

日本武道館の歴史



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



BUDŌ:

THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

（B5判・上製・DVD付・336頁）



武道

子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）



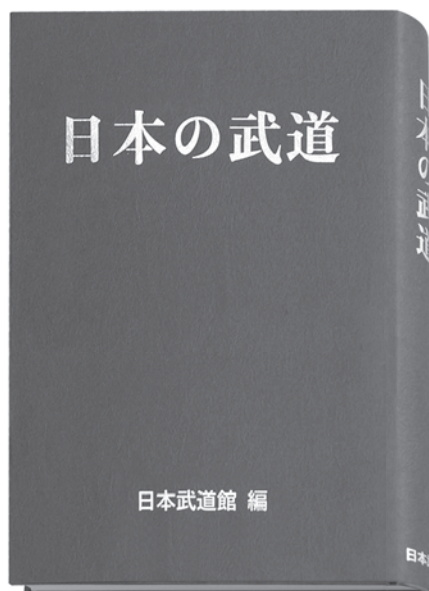
大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・
少林寺拳法などさまざまな銃剣道をはじめ、
各武道統括団体の全面協力によって完成!!
一千数百年の歴史を有する
武道の全容をこの一冊に集大成!!
武道小百科事典としても役立つ
充実した巻末の資料編!!



日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



日本武道館 編

日本の武道

日本の武道のすべてを網羅した武道関係者必携の書

第50回記念全国道場少年剣道大会

小学生
団体の部

昭島中央剣友会(東京)が 初優勝



小学生団体決勝大将戦＝昭島中央剣友会・武石（左）対小曾根剣友会・門田

第50回記念全国道場少年剣道大会（主催＝全日本剣道道場連盟）は、7月28日～30日の3日間、日本武道館で開催された。

各都道府県大会の予選を勝ち抜いた約950チームが、小学生の部、中学生の部に分かれて5人制の団体戦で覇を競った。また、29日には、50回記念大会として、道場推薦の約2360名での個人戦も行われた。

28日の小学生団体の部は、昭島中央剣友会（東京）が小曾根剣友会（大阪）を降し、初優勝。

30日の中学生団体の部は、東松館道場（東京）が福岡十生館（福岡）に競り勝ち、2年ぶり4回目の優勝を遂げた。

29日の部門別個人戦は、小学生男子の部・小山颯（東京・東松館道場）、小学生女子の部・松永樹音（福岡・福岡一信館）、中学生男子の部・木島飛翼（宮崎・宮崎神武館道場）、中学生女子の部・妹尾舞香（福岡・今宿少年剣道部）がそれぞれ優勝を果たした。

団体戦は、小・中学生ともに16コートに分かれて、トーナメント方式

でコート代表を決定し、16チームによる決勝トーナメントで競われた。

試合時間は、小学生2分、中学生2分30秒の三本勝負で行い、勝敗の決しない時は引分けとした。ただし、勝者数、総本数が同数のときは、任意選出による代表戦一本勝負（時間無制限）で勝敗を決した。

■小学生団体の部（540チーム）

準決勝には、昭島中央剣友会（東京）、三芳少年剣士会（大分）、小曾根剣友会（大阪）、せた魂剣道部（滋賀）が勝ち上がった。

昭島中央剣友会と三芳少年剣士会の対戦は、昭島中央剣友会が3―1で三芳少年剣士会に勝利した。小曾根剣友会と、せた魂剣道部の対戦は、小曾根剣友会が4―1でせた魂剣道部を降し、決勝へ駒を進めた。

▽決勝

決勝は昭島中央剣友会と小曾根剣友会。先鋒戦、小曾根・神原の跳び込み面に対し、昭島中央・酒井は面返し胴を決め、一本勝。次鋒戦、序盤に昭島中央・藤田が出ばな小手を決め、一本を先取。小曾根・東は取り返そうと果敢に攻め続けるも時間

となり、藤田が一本勝を収めた。その後は、中堅戦から大将戦まで引き分けが続き、2―0で昭島中央剣友会が初優勝を決めた。

◎優勝Ⅱ昭島中央剣友会大将

武石融知選手

「全国各地から強豪が集まっているので、二本は取れないと思う、一本勝負の気持ちで頑張りました」

◎優勝Ⅱ昭島中央剣友会

三浦昇一郎監督

「優勝してびっくりしています。一時間半の稽古は、集中して取り組んでいます。特別な稽古はしていません。基本を大切に同じことの繰り返しです」



小学生団体優勝＝昭島中央剣友会(東京)

中学生
団体の部

東松館道場(東京)が 2年ぶり4回目の優勝



中学生団体決勝副将戦＝東松館道場・門間(右)が胴を決める

■中学生団体の部(41チーム)

準決勝に勝ち進んだのは、東松館道場(東京)、福岡十生館(福岡)、光龍館(香川)、戸塚道場(神奈川県)の4チーム。

東松館対戸塚道場は、4―1で東松館が制し、福岡十生館対光龍館は、福岡十生館が3―0で勝利した。

▽決勝

先鋒戦、東松館・大平対十生館・中山。中山が鍔(つば)ぜり合いから中途半端に引き面を打った後、大平は小手に跳び込み一本勝ち。次鋒戦、東松館・吉田対十生館・吉村。吉村は打ち合う中で跳び込み面を先取。二本目は相面となり、吉村に旗が3本上がった。吉村は二本勝ちを収め、勝敗を五分に戻した。

中堅戦は引き分け、副将戦、鍔ぜり合いからお互いに下がった後、十生館・和田は面に跳んだが、東松館・門間は面返し胴を放ち、胴を奪った。その後、和田は攻めたが時間となり門間が一本勝ちで勝利した。大将戦、東松館・小川は守りに入らず、攻撃の手を緩めない。対する十生館・中山も遠間から積極的に技

を繰り出し、攻め続けたが時間となり、2-1で東松館が接戦を制し、優勝旗を取り戻した。

◎優勝Ⅱ東松館道場大将・小川大輝選手
「小学生の時は3位で終わってしまつたので、優勝できて最高です」

◎優勝Ⅱ東松館道場・井上亮監督
「昨年は優勝を逃してしまつたので、今大会は優勝旗を持って帰るんだという気持ちで必死になつていたので、嬉しいです」



中学生団体優勝＝東松館道場（東京）

部門別個人戦

小学生男子の部優勝

小山 颯

（東京・東松館道場）



中学生男子の部優勝

木島飛翼

（宮崎・宮崎神武館道場）



小学生女子の部優勝

松永樹音

（福岡・福岡一信館）



中学生女子の部優勝

妹尾舞香

（福岡・今宿少年剣道部）



個人戦は4部門（小学生男子の部、小学生女子の部、中学生男子の部、中学生女子の部）に分かれ、トーナメント方式で競われた。試合時間は、各部門とも、2分30秒の三本勝負で行い、勝敗の決しない時は判定とした。ただし、各部門の準々決勝以降で勝敗の決しない時は、2分間の延長戦を行い、更に勝負の決しない場合は判定で勝敗を決した。

▼小学生男子の部（852名）

▽決勝

小山颯（東京・東松館道場）と宮本颯太（福岡・高田道場）が対戦。

小山は先に間合いを詰め面を打込んだ。長身の宮本の面には届かなかつたが、更に面を打込み一本を先取。その直後、宮本は相面を決め、五分に戻す。勝負は、宮本が面に跳んだところを、小山の面返し胴が決まり、小山が優勝した。

◎小学生男子の部優勝Ⅱ

小山颯選手（東松館道場）

「試合が終わった時は、優勝した実感がありませんでしたが、表彰された時には優勝したんだと嬉しく思いました」

▼小学生女子の部（304名）



個人戦・中学生女子の部決勝 今宿少年剣道部・妹尾(奥)が攻める

▽決勝

松永樹音(福岡・福岡一信館)と鈴木みのり(神奈川・久里浜剣友会)が対戦。鈴木が間合いを詰めて前に出たところを、松永は面を決めた。二本目は、鏝ぜり合いから松永が引き面を決め、松永が優勝に輝いた。

◎小学生女子の部優勝

松永樹音選手(福岡一信館)

「団体戦では優勝できまんでしたが、個人戦で優勝できて嬉しいのです。もともとと努力して強くなりたいです」

▼中学生男子の部(833名)

▽決勝

木島飛翼(宮崎・宮崎神武館道場)と岩部光(香川・光龍館)が対戦。時間内に決着がつかず、勝負は延長

戦へ。鏝ぜり合いからの離れ際、木島の素早い引き面が決まり、勝負あり。接戦を制した木島が中学生剣士日本一となった。

◎中学生男子の部優勝

木島飛翼選手(宮崎神武館道場)

「まだ優勝した実感はありません。もともと努力して、今度は高校でも日本一になりたいです。竹ノ内佑也選手のように強くなりたいです」

▼中学生女子の部(377名)

▽決勝

妹尾舞香(福岡・今宿少年剣道部)と坂元麗華(広島・中筋スポーツ少年団)が対戦。妹尾は鏝ぜり合いから引き面を決め、一本目を先取。二本目の開始直後、坂元が間合いを詰めた瞬間、妹尾の鋭い飛び込み面が

決まり、二本勝ちで優勝に輝いた。

◎中学生女子の部優勝

妹尾舞香選手(今宿少年剣道部)

「中体連や道場連盟の試合が沢山あるのでこれに続いて全部優勝したいです」

【大会結果】

■小学生団体の部

- ▽優勝 昭島中央剣友会(東京)
- ▽2位 小曾根剣友会(大阪)
- ▽3位 三芳少年剣士会(大分)

せた魂剣道部(滋賀)

■中学生団体の部

- ▽優勝 東松館道場(東京)
- ▽2位 福岡十生館(福岡)
- ▽3位 光龍館(香川)

戸塚道場(神奈川)

■部門別個人戦

▼小学生男子の部

- ▽優勝 小山 颯(東京・東松館道場)
- ▽2位 宮本颯太(福岡・高田道場)
- ▽3位 末永英大(熊本・承道館)

藤堂文太(愛知・修徳館龍虎の会)

▼小学生女子の部

- ▽優勝 松永樹音(福岡・福岡一信館)

- ▽2位 鈴木みのり(神奈川・久里浜剣友会)

- ▽3位 猪原悠月(鹿児島・出水剣友スポーツ少年団)

大塩和香那(北海道・千歳明德館)

▼中学生男子の部

- ▽優勝 木島飛翼(宮崎・宮崎神武館道場)
- ▽2位 岩部 光(香川・光龍館)
- ▽3位 深水皓斗(熊本・九好会)

吉村純平(東京・東松館道場)

▼中学生女子の部

- ▽優勝 妹尾舞香(福岡・今宿少年剣道部)
- ▽2位 坂元麗華(広島・中筋スポーツ少年団)
- ▽3位 柿元冴月(福岡・池田道場)

辻井茉莉(滋賀・滋賀八幡西清流館道場)



日本武道館の単行本

著者の80年の生涯にわたる
剣道修錬を集大成した
本格的剣道修行論

好評発売中!



目次

- 第一章 剣道
- 第二章 剣道の歴史
- 第三章 修錬・先人に学ぶ
- 第四章 剣道の極意
- 第五章 武道における「礼」
- 第六章 剣理
- 第七章 指導者としての心構え

全日本剣道連盟相談役・剣道範士九段

堀籠 敬藏 著

(四六判・上製・344頁)

剣の清流



編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット

（B5判・上製・DVD付・336頁）



高め合う剣道

筑波大学名誉教授

佐藤 成明 著

（四六判・上製・564頁）



刀剣の 歴史と思想

筑波大学大学院准教授

酒井 利信 著

（四六判・上製・346頁）



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

（B5判・並製・236頁）



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）



禅の思想と剣術

北海道大学大学院教授

佐藤 錬太郎 著

（四六判・上製・386頁）



今、なぜ武道か —文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



人を育てる剣道

剣道範士八段

角 正武 著

（四六判・上製・268頁）



武道 過去・現在・未来

国際武道大学教授

田中 守 著

（四六判・上製・274頁）

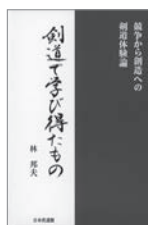


兵法家伝書に学ぶ

文教大学教授

加藤 純一 著

（四六判・上製・344頁）



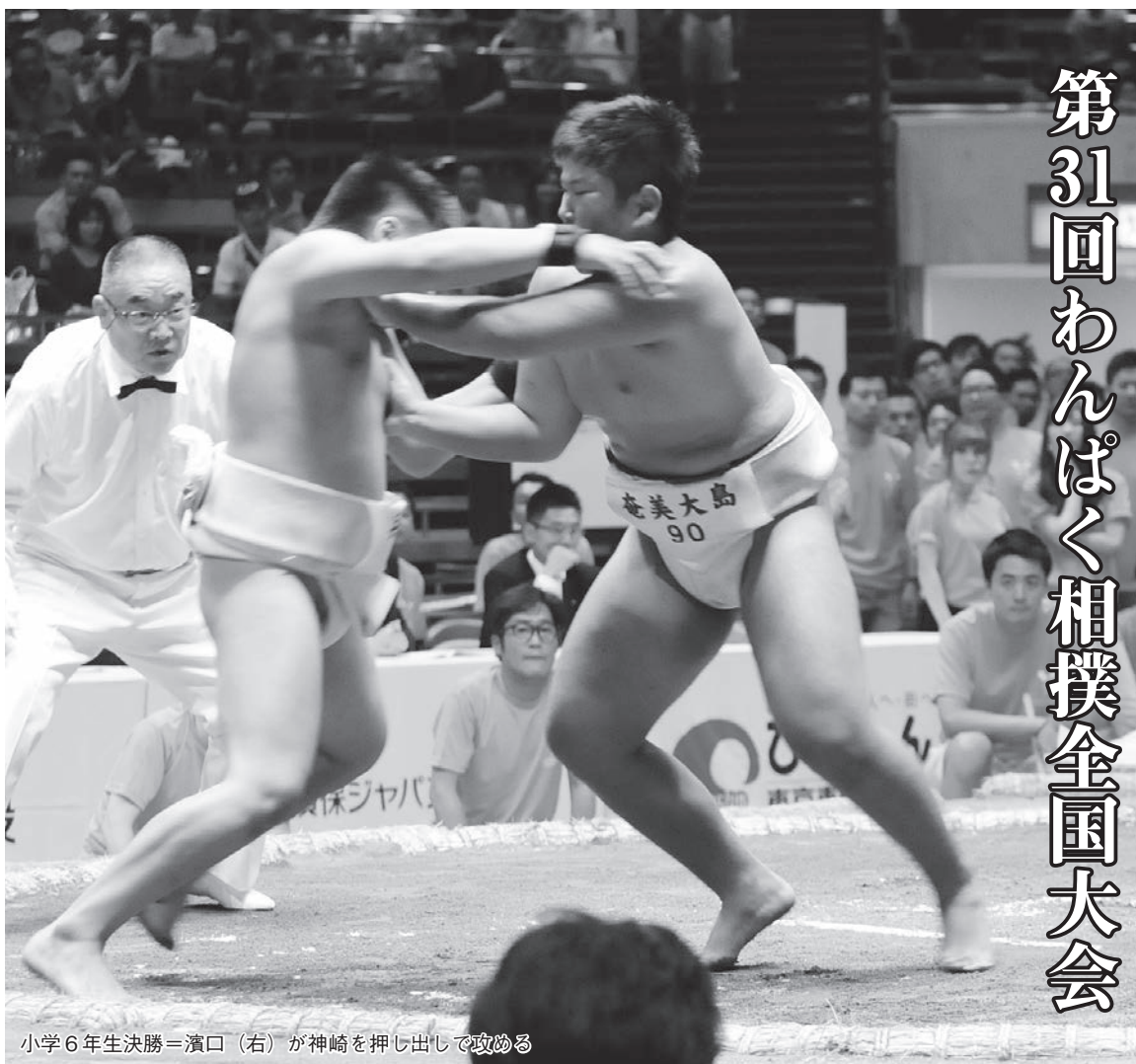
剣道で 学び得たもの

中京大学教授

林 邦夫 著

（四六判・上製・298頁）

第31回わんぱく相撲全国大会



小学6年生決勝＝濱口（右）が神崎を押し出して攻める

どすこい！ わんぱく横綱を目指して大熱戦

第31回わんぱく相撲全国大会（主催Ⅱ公益財団法人日本相撲協会、公益社団法人東京青年会議所）は8月2日、両国国技館で開催された。大会では、全国各地の予選を勝ち抜いた選手が、小学4・5・6年生の3部でわんぱく横綱の座を懸けて熱戦を展開した。

小学6年生の部は濱口颯翔（奄美大島）、小学5年生の部は成田力道（五所川原）、小学4年生の部は山下昇介（鹿屋）がそれぞれ優勝し、わんぱく横綱の称号を手にした。

また、個人戦の成績の合計で競われる団体戦では奄美大島（鹿児島）が優勝し、濱口は個人・団体の二冠を達成した。

■小学6年生の部

昨年度優勝の栄龍征を奄美大島の地区大会で破って本大会に出場を果たした濱口颯翔は安定した相撲で順調に勝ち上がり、準決勝進出を果たす。昨年小結の藤田一翔（座間）は3回戦で昨年大関の落合哲也（鳥取A）を押し出して破ると、準々決勝では一昨年のわんぱく横綱である篠田裕之（羽咋）も押し出して破るな



小学6年生準決勝＝濱口（右）対藤田



小学6年生準決勝＝神崎（手前）対川副

ど快進撃を見せてベスト4に勝ち残った。他に準決勝に残ったのは一昨年度大関の川副楓馬（宇城）と神崎大貴（兵庫A）。

▽準決勝

神崎大貴 ○引き落とし 川副楓馬

立合い後、川副をいなす神崎。続いて突っ張りで川副の上部を起こす。これをこらえた川副は体勢を立て直して諸差しを狙って前に出る。これに素早く反応して神崎が川副の肩と腕を引くと川副はなす術なく土俵にバツタリ。神崎が決勝に進出した。

濱口颯翔 ○上手投げ 藤田一翔

立合い、正面からぶつかる両者、藤田は低い姿勢から濱口の懐に入り、まわしを掴んで先に十分な体勢を作る。藤田はそのまま濱口を土俵際に追い込むが、ここから濱口が体を反転させると豪快に逆転の上手投げを決め、決勝進出。

▽決勝

神崎大貴 押し出し○ 濱口颯翔

立合い、濱口の圧力を警戒してか神崎が右に変化。しかし、濱口はこ

れに冷静に反応して低い姿勢から突っ張りを繰り出し、神崎を土俵際に追いつめてゆく。濱口は、体勢を立て直そうと突っ張りを返す神崎を一気に土俵外に押し出し、見事わんぱく横綱の栄冠に輝いた。

◎優勝Ⅱ濱口颯翔選手（奄美大島）

「絶対に優勝しようと思っていたので、とても嬉しいです。団体戦もみんなで勝とう」と大会前に気合いを入れていました。全員で勝てたので本当に良かったです。今日は強い選手が集まっていました。その中で切磋琢磨して自分の力が出せたことが勝因だと思います。豪栄道関が憧れなので将来はプロになりたいです。これからは、全ての大会で自分の相撲を取って優勝したいです」

■小学5年生の部

昨年のわんぱく横綱である成田力道は、他を寄せ付けない圧倒的な強さで危なげなく準決勝進出。昨年、成田に敗れて大関の菅原悠翔（うなぎ静岡）、同じく成田に敗れて関脇の内田京汰（富士山静岡）は、順当に準決勝進出を決めた。他にベスト4に残ったのは西川宙生（中央）。



昨年度5年生横綱、栄龍征による土俵入り



昨年度4年生横綱、成田力道による土俵入り



小学5年生決勝＝成田（左）が西川を押し出して連覇を果たした

▽準決勝
菅原悠翔 寄り倒し○ 西川宙生
立合いは菅原が低く当たって、西川が受け止める形。西川はすぐさま体を入れ替えて寄り、土俵際へ追い詰める。そのまま菅原を寄り倒して勝負あり。

内田京汰 上手投げ○ 成田力道
立合いから両者まわしを掴みにい

くが届かない。ほぼ同時に、成田が右で、内田が左でまわしを掴むと、体格で勝る成田が圧力をかけて押し込み、最後は上手投げ。成田が連覇に王手をかけた。

▽決勝
西川宙生 押し出し○ 成田力道
立合い後すぐに西川の右手をおつける成田。左を押さえつけられて

何もできない西川をそのまま場外まで一気に押し出す横綱相撲で、嬉しい2連覇を達成した。

◎優勝Ⅱ成田力道選手（五所川原）
「2連覇できて嬉しいです。本当は自分の得意な押し相撲が取りたかったのですが、相手も強くて途中から組む相撲に変えました。決勝では、連覇して来年も横綱として土俵入りたいと思って、試合に臨みました。今日の土俵入りはYouTubeを見てお父さんと練習しました。来年も優勝して3連覇したいです」

■小学4年生の部

準決勝に進出したのは田崎正美（大阪城）、坂本正真（墨田）、市来崎大祐（奄美大島）、山下昇介（鹿屋）。

▽準決勝

田崎正美 寄り切り○ 坂本正真
立合い後、坂本は即座に諸差しの体勢となつて、そのまま寄り切り。田崎に何もさせずに決勝進出。

市来崎大祐 引き落し○ 山下昇介
立合いから互角の攻防が続く。互



小学5年生準決勝＝成田（手前）対内田



小学5年生準決勝＝西川（左）対菅原



小学4年生決勝＝山下（奥）対坂本



小学4年生準決勝＝坂本（奥）対田崎

いに決定的な攻めができないまま、市来崎が前に出ようとするが、足が滑って土俵に転がってしまい、山下に勝ちが舞い込んだ。

▽決勝

坂本正真 引き落とし○ 山下昇介

立合いから、低い姿勢での押し合いが続く。土俵中央で組むと坂本が寄る。ここで山下が小手投げを仕掛けようとすると、坂本が崩れて土俵にバツタリ。決り手は引き落としとして山下が優勝。



小学4年生準決勝＝山下（左）対市来崎



◎優勝Ⅱ山下昇介選手（鹿屋）
「勝てて嬉しいです。決勝は緊張しましたが、負けても、良い相撲を取ろうと思っていました。学校の校長先生の勧めで小2から相撲をやっています。照ノ富士のような、横綱にも勝つ強い力士が憧れです。」

【大会結果】

■小学6年生

▽横綱Ⅱ濱口颯翔（奄美大島）

▽大関Ⅱ神崎大貴（兵庫A）

▽関脇Ⅱ川副楓馬（宇城）

藤田一翔（座間）

■小学5年生

▽横綱Ⅱ成田力道（五所川原）

▽大関Ⅱ西川宙生（中央）

▽関脇Ⅱ菅原悠翔（うなぎ静岡）

内田京汰（富士山静岡）

■小学4年生

▽横綱Ⅱ山下昇介（鹿屋）

▽大関Ⅱ坂本正馬（墨田）

▽関脇Ⅱ田崎正美（大阪城）

市来崎大祐（奄美大島）



団体優勝＝奄美大島

好評発売中

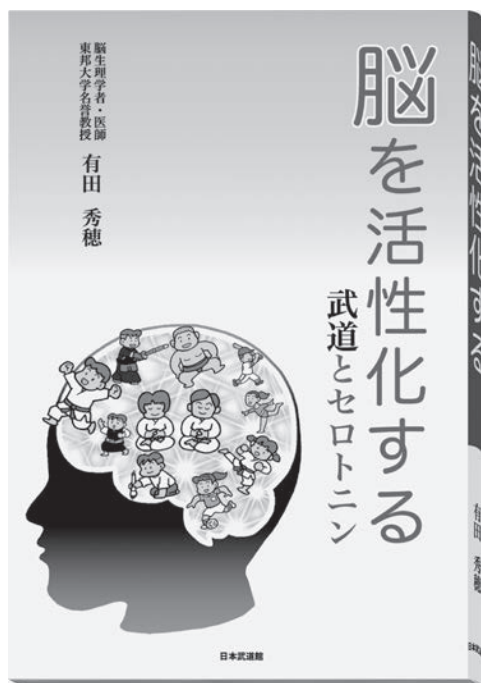
脳生理学者・医師
東邦大学名誉教授

有田 秀穂 著

脳を活性化する

武道とセロトニン

人間の心身を安定させ、「無心」の状態を作るセロトニン神経―その研究の第一人者が、丹田呼吸法を手懸かりに、武道や禅、日本文化を題材として、誰もが
できる脳を活性化する方法をわかりやすく解説。



A5判・並製・346頁・1600円+税

有田 秀穂
(ありた・ひでほ)

昭和23年(1948)東京都生まれ。東京大学医学部卒業。東海大学医学部助手、筑波大学基礎医学系講師、東邦大学医学部教授を経て、現在、東邦大学名誉教授。脳生理学者、医師。セロトニン道場代表。



主な内容

第1部 脳の活性化とは

坐禅とセロトニン
ストレスとしごき
空海はセロトニン活性の達人
『弓と禅』に学ぶ身体トレーニング
沢庵の「不動智」とワーキングメモリー
不動明王と心の三原色
『弓と禅』に学ぶ無意識の自己意識
悪夢を消すには？

精進料理とセロトニン合成
「茶の湯」とセロトニンの生活
「自然に体が動いた」を脳科学で解く
勝海舟の「明鏡止水の心」を脳科学する
「武道の礼法」は社会脳を育む
相撲の「四股」は品性を育む
書道も心技体の人間修行

アンドロゲンと闘争心
日本の祭にはセロトニンがたっぷり
スキップとオキシトシン
空手の稽古は坐禅修行に通じる
脳は「丹田呼吸法」をどう操るか
試合における最適な覚醒状態
サイエンスは「気」をどこまで解明したか
仙人術を脳科学する

第2部 対談「武道で脳を活性化しよう」

日本武道館会長 松永 光
東邦大学名誉教授 有田 秀穂

：他

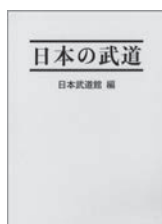
編集・発行 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページhttp://www.nipponbudokan.or.jp

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

日本武道館発行の単行本（本をクリックすると、詳細が表示されます）



日本の武道

日本武道館 編

（B5判・上製・箱入・526頁）



BUDŌ: THE MARTIAL WAYS OF JAPAN

日本武道館 編

（翻訳・編集：アレキサンダー・ベネット）

（B5判・上製・DVD付・336頁）



武士道に学ぶ

皇學館大学教授

菅野 覚明 著

（四六判・上製・344頁）



武道の礼法

弓馬術礼法小笠原教場三十一世宗家

小笠原清忠 著

（四六判・上製・278頁）



マンガ・ 武道のすすめ

漫画家・別府大学教授

田代しんたろう 著

（B5判・並製・236頁）



武道における 身体と心

神戸学院大学教授

前林 清和 著

（四六判・上製・370頁）



＜増補版＞ 私も武道経験者です

月刊「武道」記者

吉野 喜信 著

（四六判・上製・326頁）



今、なぜ武道か

—文化と伝統を問う—

福島大学教授

中村 民雄 著

（四六判・上製・370頁）



大先輩に聞く

月刊「武道」記者

田谷 将俊 著

（四六判・上製・376頁）



武道・ スポーツの真髄

スポーツドクター

辻 秀一 著

（四六判・上製・248頁）



武道 子どもの心をはぐくむ

早稲田大学教授・教育カウンセラー

菅野 純 著

（四六判・上製・410頁）



武の素描

埼玉大学教授

大保木輝雄 著

（四六判・上製・220頁）

特集

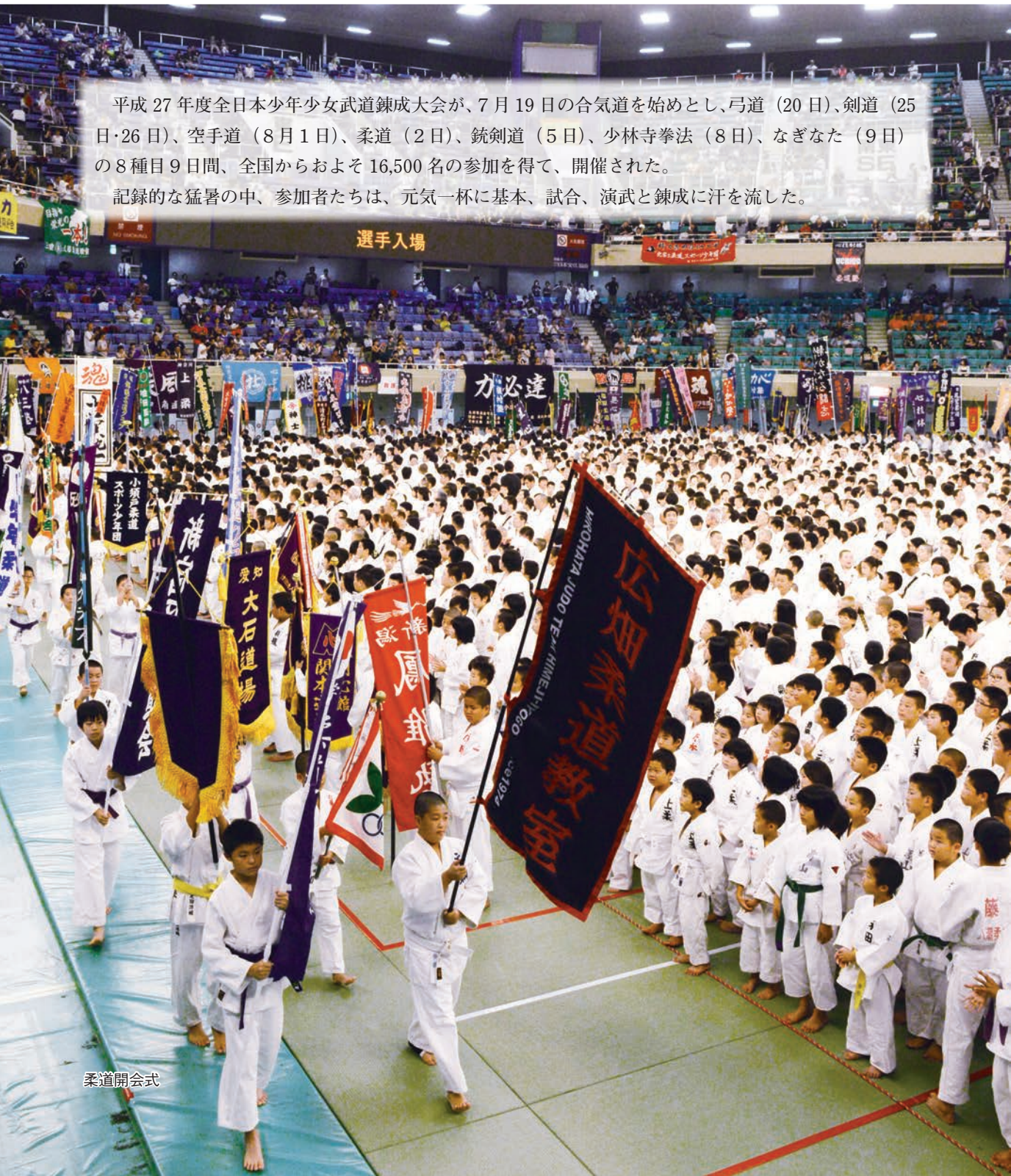
平成 27 年度

全日本少年少女武道錬成大会

平成 27 年度全日本少年少女武道錬成大会が、7 月 19 日の合気道を始めとし、弓道（20 日）、剣道（25 日・26 日）、空手道（8 月 1 日）、柔道（2 日）、銃剣道（5 日）、少林寺拳法（8 日）、なぎなた（9 日）の 8 種目 9 日間、全国からおおよそ 16,500 名の参加を得て、開催された。

記録的な猛暑の中、参加者たちは、元気一杯に基本、試合、演武と錬成に汗を流した。

選手入場



柔道開会式



柔道



合気道



銃剣道



弓道



少林寺拳法



剣道



なぎなた



空手道

錬成 夏の記録



開会式では奥田幹生日本武道館常任理事と植芝守央合気会理事長が挨拶。続いての基本錬成では、全員で舟漕ぎ運動を行った後、第1部（小1・2）、第2部（小3・4）、第3部（小5・6）、第4部（中1〜3）に分かれ、稽古錬成に励んだ。演武錬成では、道場を5つに分け、団体ごとに演武を披露した。参加者は基本、演武と錬成に汗を流した。

最後に、植芝充央本部道場長を初めとする本部道場指導部による演武が行われた。

7月19日

164 団体 2,374 名参加

合気道



植芝守央
合気会理事長



奥田幹生
日本武道館常任理事



総合演武（植芝充央 本部道場長）



ちかいのことば
保坂駿介・大杉律葉（合気道新川塾）





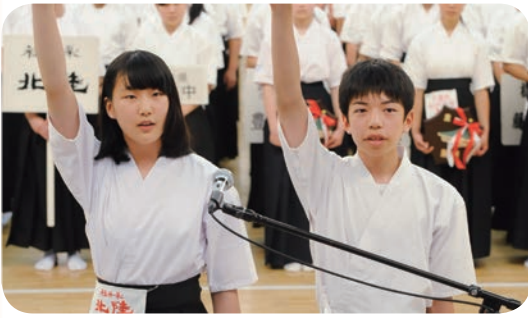
開会式では、松永光日本武道館会長と柴田猛全日本弓道連盟会長の挨拶に続いて、選手代表による、ちかいのことが発表された。

基本錬成では、準備体操に続いて全員で4名の教士の動きに倣^{なま}って徒手の射法八節で動きを確認した後、世界弓道選手権大会優勝メンバーによる特別演武を真剣な眼差しで見学した。

試合錬成では、男女とも3名計12射の的中が6中以上のチームが予想を通過し決勝は的中数で争われた。

7月20日
87団体 1,278名参加

弓道



ちかいのことば
達山未帆・嶋田大佑
(福井・北陸中学校)



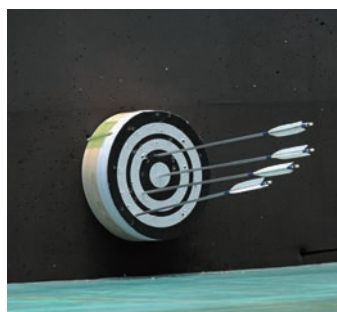
柴田 猛
全日本弓道連盟会長



松永 光
日本武道館会長



特別演武 (吉田志鍊士五段、飯山雄介鍊士六段、大森亮登鍊士五段、山口純五段)





開会式では、25日は、白井日出男
 日本武道館理事長と福本修二全日本
 剣道連盟副会長兼専務理事、26日は、
 松永光日本武道館会長と松永政美全
 日本剣道連盟副会長が挨拶。調布市
 剣道連盟による「木刀による剣道基
 本技稽古法」の公開演武に続いて、
 参加者全員で準備体操を行った。
 試合は、5人制による基本判定試
 合と一本勝負。ベスト8から三本勝
 負で勝敗を決した。参加者たちは勢
 い良く竹刀で打ち合い、白熱した試
 合を繰り広げた。

7月25日・26日
 710団体 4,861名参加

剣道



臼井日出男
日本武道館理事長



松永政美
全日本剣道連盟副会長



ちかいのことば (26日)
小番柚輝 (秋田・有武館矢島道場)



公開演武「木刀による剣道基本技稽古法」(東京・調布市剣道連盟)



ちかいのことば (25日)
日茂駿介 (和歌山・和歌山武道館剣道錬成クラブ)





開会式では、島村宜伸日本武道館
 常任理事、笹川堯全日本空手道連盟
 会長が挨拶を行った。
 基本錬成では、渡辺純一・七段の
 号令に合わせ、基本の突き、蹴りを
 元気に繰り返した。試合錬成は、1
 チーム3人制で、小学1・2年生の
 部、小学3・4年生の部、小学5・
 6年生の部、中学生の部の4部門で
 実施。形競技(団体戦)を行った後、
 勝ち残った16チームが決勝トーナメ
 ント(組手競技)に進出。団体形や
 組手で切磋琢磨する姿が見られた。

8月1日

152 団体 2,068 名参加

空手道



模範演武・団体形「アーナン」。
左から喜友名諒四段・上村拓也参段・金城新四段



笹川 堯
全日本空手道連盟会長



島村宜伸
日本武道館常任理事



ちかいのことは
市原芽衣（普現流空手道）





開会式では、松永光日本武道館会長と中里壮也全日本柔道連盟事務局長が挨拶。

基本錬成では、持田達人、松本勇治氏を指揮者とし、強化選手3名による模範演武と技の解説が行われた。続いて、かかり稽古では、演武者も含めた各団体の指導者が元立ちとなり、参加者は元気いっぱい基本錬成を行った。

試合錬成では、低学年（3・4年生）、高学年（5・6年生）に分かれ、熱戦が展開された。

8月2日

285 団体 2,971 名参加

柔 道



模範演武（指揮者＝持田達人、松本勇治、
演武者＝平岡拓晃、宇高菜絵、田知本遥）



ちかいのこたば 三宅麗偉
（愛媛・宇摩柔道会）



中里壮也
全日本柔道連盟事務局長





開会式では、白井日出男日本武道館理事長と酒井健全日本銃剣道連盟会長が挨拶を行った。

開会式後、特別演武「銃剣道基本・応用技」が披露され、続いて行われた銃剣道と短剣道の合同錬成では、指揮者に従って基本動作を含めて稽古に励んだ。試合錬成では、九つの試合場で銃剣道と短剣道の個人戦と団体戦が行われ、武道館の大道場には選手の気迫の声、応援の声がこだまし、結果に悔し涙を流したり、喜びを分かち合う姿が見られた。

8月5日

38団体 227名参加

銃剣道



ちかいのことば
高田 椎
(北海道・名寄ピヤシリ銃剣道少年団)



酒井 健
全日本銃剣道連盟会長



特別演武 「銃剣道基本・応用技」(小松美緒四段、小松和佳三段)





今年は「ワクワク〜自分を変えよう〜」をテーマに開催。鎮魂行に始まり、開会式では高村正彦日本武道館常任理事と宗由貴少林寺拳法グループ総裁が挨拶に立った。全員で突きや蹴りなどを確認する基本錬成を行い、続く演武錬成では、段・級別に分かれて、演武を競い合った。
 演武錬成後は稽古錬成に移った。再び基本の動きを確認した後、他の道場の拳士と組んで交流を深めた。閉会式では、新井庸弘少林寺拳法連盟会長が挨拶して大会は終了した。

8月8日
 205 団体 1,586 名参加
少林寺拳法



鎮魂行主座
木本 翔
(津中央道院拳友会)



宗 由貴
少林寺拳法グループ総裁



高村正彦
日本武道館常任理事



模範演武 (富士見ヶ丘高等学校少林寺拳法部)





開会式では、松永光日本武道館会長と佐藤浩市全日本なぎなた連盟会長が主催者挨拶。続いて、清廣哲之文部科学省スポーツ・青少年局体育官が祝辞を述べた。参加者は、全員で準備体操を行った後、基本の素振り、体捌き^{たいはき}を行った。

演技競技（小1～中学の4部）では、2名1組となり、凜とした姿勢で基本の打ち・受け・捌きを演武。試合競技（小3～中3の学年ごと）では、防具をまとい、気合いの入った技を繰り出し、試合を行った。

8月9日

142 団体 1,088 名参加

なぎなた



ちかいのことば
前田愛梨
(愛知・愛知祥南なぎなたクラブ)



佐藤浩市
全日本なぎなた連盟会長



清廣哲之 文部科学省
スポーツ・青少年局体育官



平成27年度

全日本少年少女武道錬成大会 受賞一覧

平成27年7月19日から8月9日までの9日間にわたって、日本武道館で行われた平成27年度全日本少年少女武道錬成大会の受賞一覧を、掲載いたします。

【神奈川県】坂本龍之介（合気道自灯館道場）、津波亮太・新藤はな莉（合気道唯心館杉野道場）、吉田彩乃・桐下勇輝（合気道幸徳会）、加納涼太・橋本真実子（合気道青葉塾道場）、塚田万梨乃・藤森仁奈（合気道春水道場）、平井みさ（桜台合気道クラブ）、西野珠実・高橋由衣（春陽会）、中嶋楓（葉山町合気会）、日高琉哉・尾島奏大（南林間カルチャーセンター）、塚原朱南（横浜南合気会）、高橋黎音（鶴岡八幡宮研修道場合気道科）、木津太陽（城下町合気道（小田原道場））、武内海（無門館）、丸川夕菜・更科宏太朗・平澤ティモシー（合気道漸進会）、望月さおり（合気道相模和道会）、川内はな（合気道高城道場合気道わんぱく道場）、安田百伽（横浜国際合気道会）、伊藤心花（綾瀬市・海老名市合気会）、彌永瑛斗・濱口海・小嶋蘭・大沼夢泉・貞島未歩（寒川合気会）、杉山拓未・鈴木九羽留（国立印刷局合気道部）、笠間楓（秦野武産合気会）、露木かのり（二宮合気会）、馬頭蘭璃（鷹の台合気道同友会）、渡邊剛・角井祐樹（合気道相模誠心会田名道場）、田代佑羽（よみうりカルチャー横浜合気道教室）、内藤大智（富士フィルムテクノプロダクツ合気道部）

【新潟県】保刈琴心音（新潟合気会新潟みなと道場）

【長野県】小山祐・滝沢朱唯（合気道武石道場）

【静岡県】石黒皓己・利根川心（長泉・富士宮合気会）、勝又風雅（裾野合気会）、高橋くるみ・市川結季加・大城アキラ・松屋リク・佐野綾音・高橋悠太・小町優生・長木ユキエ・石田怜那・松井喜音・小松龍之介・市川綾香・佐野聖奈・大城マレナ・満尾友希乃・中村光亜・石田壮・昌山虎太郎・満尾元哉・比嘉由美子・中村一陽・梅原碧大・馬場アキハ（伊豆至誠会）、横原史・野村海斗・鈴木彩月（合気道石芯塾童夢の会）

【岐阜県】三輪祐策・三輪朱史・三輪将一朗（合気道岐阜一元会）

【京都府】鶴谷宥斗・金澤いに奈（合気道入江道場）

【大阪府】小畑実来・高橋優芽・赤松ひなた・中谷梨実・小磯彩名・平山雄霸（合気道正勝会）、中居七海・芝野愛梨（合気道泉州武育会）

【奈良県】多賀眞（奈良合気会）、福井祐二・寺口明希・鹿島佑斗・中川愛翔・川原慈・石田響喜・北里昂斗・米田友・亀井一樹（合気道西大和会）、中村和磨（合気道三錬会）

【和歌山県】戎泰輝・千住晋弘・前川起輝（和歌山竹豊館道場）

【岡山県】木村志織・三宅沙門（倉敷天領塾）、伊藤あゆか（倉敷市立西中学校合気道部）

【広島県】中野遼水・平賀照彬・田尾優斗・波田朋晴・上杉陽斗・道行音和・久留和大・石井珀人・山口真佑・木原弘貴・池内樺音・平賀嵩規・岡村知哉・竹田誠・上杉修世・隅田晃成・道行美宙・野口日向・土手咲南・織田颯希・石井珠吏・府山和哉（合気道二葉教室・HIJYAMA 教室）

【香川県】平田宗一郎・平松世霸（合気道立志館）



合気道 ―＜努力賞＞―

【岩手県】小澤慧介・嶋田野亜（合気道奥州道場）
 【福島県】溝井元輝・望月優希（合気道須賀川道場）
 【群馬県】中島実樹也（薫風館）
 【茨城県】後藤優実・後藤秀実（つくば牛久合気道友会）、池田くるみ・山岡優笑（江戸崎合気会）、幸田真佐希（取手市合気道スポーツ少年団）、谷鳳人（つくば合気道会）、飯島陽菜・畠山美咲・ハツ田結乃・山口涼花（水戸市合気道スポーツ少年団）、宮田日菜子・井上七海（ひたちなか市合気道少年団）、井上魁（岩間合気道スポーツ少年団）、明珍美羽（東海合気道少年団）、松本麗王南（ひたちなか合気会常陸大宮合気道少年団）、黒沢秋哉（那珂湊合気道少年団）
 【埼玉県】柗木翔吾・木村海偉・岩淵晃大・小松崎嵩史・坂田海斗（合気道志優館）、梅内彩花・竹本有紗・古谷蓮・宮崎雄基（合気道浦和尾又道場）、田村羽衣（A&P合気道石垣道場）、杉浦由太郎・川村泉月・須藤秋人・馬場一弥（大成合気道会）、岡田光人・新井瑛梨奈（志陽館）、細井政昭・長尾彩葉（合気道大宮道場）、石川侑心・榎倅生・須貝拓登・松藤優輝（浦和合気会）、足利谷渉（A&P合気道大関道場）、奥村大氣・石塚由依・篠田和叶（合気道越谷道場）、高橋わたの（蓮田合気会）、小川桜子（合気道川島町同好会）、石森和葉（合気道川越道場）、金井楓末弥・金井萌久美（日高市合気道同好会）、熊野あすか・大塚明希音・田中優衣・小倉恵・石田彩乃・小澤結音・松元紫希乃（合気道研心会）、松本拓希・佐藤茉奈花（狭山市合気道教室）、越田花代・岩崎奏太（合気道修練道場自然館）、山口彩花（合気道和光道場）、依田明澄・宮下未向・石飛克（志木合気会）、小日向将造（合気道神明塾）、志村蓮・和田律（入間幸武館道場）、豊川暑土（新所沢合気道同好会）、山本真也・千葉亮太郎・内藤穂の香・赤石征悦（白岡合気会）、福田圭汰（本庄合気会）、青木麟（合気道健武館）、岩松由樹菜・横川響（東品川こども合気道）
 【千葉県】高橋祥悟・福田聖也・外館夏菜子（千葉市立椿森中学校合気道部）、伊藤優花（千葉市都合気道スポーツ少年団）、金田実侑・大野楓（合気道花見川道場）、岡田健太郎・濱本初花（合気道弘龍會明心館道場）、石橋明音・福井大貴（千葉市武道館合気道スポーツ少年団）、高橋心那・松田柊斗（流山合気道同好会）、池田樹宝・大嶋亮輝（我孫子市合気道スポーツ少年団）、大場優奈（柏合気会少年部）、高橋尚哉（船橋合気会）、大西彩水・斉藤啓太・松井啓太・松井遙・佐藤葉琉・松島七峯・齋藤嵩太（朋清会白井道場）、中尾嘉仁・阿部一暁（合気道れんしん会）、木下柚子（八千代市合気道連盟）、大橋駿之輔（合気道浦安道場）、石毛律輝・林歩生（銚子合気道会）、大木啓史・戸倉琉花・植松優羽・酒井紫陽（合気道松心館）、森田紗耶（安房館山道場）、関田夏己（北総合気会八街道場）、伊藤浩大・佐藤蒼依（袖ヶ浦合気会）、市成康弘（合気道命炎塾）、川村勇太（合気道誠気会）、仲子弦次郎（高根台カルチャーセンタージュニア合気道）、西村和花・岩上礼士（千葉市稲毛合気道スポーツ少年団）

【東京都】伊藤光佑・矢子智哉・山内森平・小泉佳麗（中央区合気会）、三澤昇生（合気道宇宙の会）、前園遼介・今村晃誠・阿部天・飯塚悠貴・吉野剛生・中田陽友（荒川合気会）、半貴彩佳・大泉元希（道学館）、遠藤蓮・池永幸亜紗（合気道順風会）、森光矢（合気道石田塾）、高山敢希（葛飾合気会）、館山葉菜・曾根原温大（合気道土井道場）、長谷川史菜（城東誠和会）、田中萌絵・黒川太聖（合気道両国魂友会）、半田実穂（鐘ヶ淵合気道クラブ）、安田脩真（八広合気道クラブ）、山田茉依・早川天翔（新小岩合気会）、松浦ももか（江戸川環七合気道クラブ）、上川由夏子・宇田川望（合気道向日葵道場）、向井田梨華（よみうりカルチャー恵比寿）、沢田都樹奈（合気道進藤道場）、塚本剛永・窪田大飛（東急セミナー BE 雪が谷）、阿部立幹（東急セミナー BE 青葉台）、後藤千奈（大森第三中学校合気道会）、佐々木勇・水井みおな（西馬込合気道会）、山本悠介・塚田翔（大田区合気道会）、内田芽生子（合気道八起会）、五十嵐結奈（渋谷区合気道同好会）、檜原司（守清館）、小野大歓・山中優衣・江島百香・渡辺峻之・近藤ゆあん・津田麻采椰・山中駿・高山琴菜・戸澤壱心・大家寛・渡辺春菜・高橋ひなの・飯塚巧太・古田響輝・高橋陵将（合気道れいめい会）、納谷元輔・高山暖人・浅山竜輝（祖師谷合気会）、池田晃一郎・小池一輝・松本真央・池水大翔・大里野乃花・島崎七海（朋清会）、佐藤楠緒子・木村心咲・両角巨泰（合気道自由が丘道場）、村岡慧・村岡琉・岡崎カッタータンポポ・高松里菜（中野区合気道会）、森永実優（明清会）、氣賀澤拓夢・小柳まりな・長島巧馬・中村雛乃・難波玲愛・西浦宇美（板橋区合気道連盟）、和久井小春（合気道心会和）、角森葵一・鈴木隆弘・松元美樹・平井李々菜・奈良木優樹・奈良木里咲・雑賀紗友・小川貴史・新関礼・井ノ口月雲・高島遼成・東條雅月・松元鵬龍・島岡生有・黒田堯晴・深谷玄太・井ノ口輝宙・西村悠希・濱野風・新関春日（月窓寺道場）、渡邊創史・山下遼・上野凌・上原旺真・須藤蒼太・服部淳之介・布施千智・海雲美風・高橋未来・田辺朋樹・須金大浩・保坂駿介・小川幸介・篠井香子（合気道新川塾）、高松介世・吉田哲野・福里熙・高松由世・館柗登・関口勇太（仲池合気道同好会）、中原圭斗・園田真代・岸伸弥・松村瑞紀・笹本佳歩・篠原郁哉・杉沢日菜・井口恵登（多摩川合気道会）、本多菖（調布合気道会）、服部和裕果（花小金井合気道燦武館）、門田佑夏（東村山市合気道会）、石井魁晟・澤木昂（頼明館中学高等学校合気道部）、飯泉賢次・久保あゆ（立川市合気道会）、石塚理貴（東大和市合気道会）、太田章吾（合気道三澤塾）、西村緑・川本優也（公益財団法人合気会本部道場少年部）、坂井萌笑（日本武道館武道学園）、佐藤俊武根・佐藤傑武根（東村山シダックスカルチャーセンター）、土屋璃織・佐藤潤（あおぞら合気道）、中川勇玖・塩森はな・梅木菜羽・梅木萌衣（武蔵村山合気道会）、古本杏零（飛鳥合気道）、稲葉真琴・岡野光紘・坂間紫・嶋村佳士（千住合気会）、渡邊龍生（杉並合気会）

弓 道

7月20日開催

男子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
豊郷中学校 A (栃木) 鹿沼市立西中学校弓道部 B (栃木)	北犬飼中学校 A (栃木) 小川中学校 A (熊本)	日光市立今市中学校 B (栃木) 大田原市立大田原中学校 B (栃木) 加治木中学校 A (鹿児島) 大平中学校 A (栃木)	豊郷中学校 A (栃木) 大平中学校 A (栃木)
努力賞	予選通過チーム (12 射 6 中以上) 23 チーム		

女子の部

優秀賞	優良賞	敢闘賞	技能優秀賞
慶應義塾中等部 A (東京) 蒲都市立形原中学校 A (愛知)	大田原市立大田原中学校 B (栃木) 松戸市立栗ヶ沢中学校 C (千葉)	豊川市立中部中学校 A (愛知) 豊田市立朝日丘中学校 B (愛知) 清原中学校 B (栃木) 豊田市立朝日丘中学校 A (愛知)	豊田市立朝日丘中学校 B (愛知) 豊田市立朝日丘中学校 A (愛知)
努力賞	予選通過チーム (12 射 6 中以上) 16 チーム		

剣 道

7月25日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
第 1 ブロック	下館士徳会 A (茨城県)	上田市剣道スポーツ少年団中央分団 A (長野県)	国分寺剣友会 B (東京都)	みつわ台剣心会 A (千葉県)
第 2 ブロック	武蔵館 B (埼玉県)	和歌山武道館剣道錬成クラブ (和歌山県)	仁武館 (茨城県)	浦安本部道場 A (千葉県)
第 3 ブロック	剣聖館 (神奈川県)	神戸枝吉己勝館 (兵庫県)	雅剣志会 (茨城県)	豊中小曽根剣友会 B (大阪府)
第 4 ブロック	大津少年剣道クラブ A (熊本県)	矢板市剣道教室 A (栃木県)	まつお少年剣友会 A (千葉県)	斉信館剣友会 (神奈川県)
第 5 ブロック	豊中小曽根剣友会 A (大阪府)	解脱錬心館 A (埼玉県)	青雲塾剣誠会 (茨城県)	埼玉越生錬成会 (埼玉県)
第 6 ブロック	鬼高剣友会 A (千葉県)	稲里剣道クラブ (長野県)	上の台剣友会 (千葉県)	郷ヶ丘剣道スポーツ少年団 A (福島県)
第 7 ブロック	東松館道場 A (東京都)	波崎修武館 A (茨城県)	自彊館武道場 A (神奈川県)	武蔵館 A (埼玉県)
第 8 ブロック	久里浜剣友会 (神奈川県)	大村市剣道協会 (長崎県)	尾島剣道部 (群馬県)	山城剣友会 (山梨県)

7月26日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
第 1 ブロック	乙島剣道スポーツ少年団 A (岡山県)	小山田源流館 (大阪府)	鹿沼市剣友会 A (栃木県)	西尾市立矢田小学校 (愛知県)
第 2 ブロック	白川台少年剣修会 (兵庫県)	八幡流水館 A (千葉県)	尚道館 (静岡県)	大義塾 A (東京都)
第 3 ブロック	緑苑剣道少年団 B (岐阜県)	川崎御幸剣友会 (神奈川県)	武徳館剣道教室 A (愛知県)	白根剣士会道場 A (新潟県)
第 4 ブロック	鎌田剣道スポーツ少年団 (福島県)	生駒剣友会 (奈良県)	東陶器春風館 (大阪府)	菅原剣士会 A (神奈川県)
第 5 ブロック	昇龍館一福道場 (岡山県)	おもちゃのまち剣道教室 (栃木県)	南十津川少年剣道クラブ (奈良県)	徳島少年剣道教室 (徳島県)
第 6 ブロック	雄信館内山道場 A (秋田県)	鍾念道場 A (愛知県)	結城尚武館 (茨城県)	佐貫清心会 A (千葉県)
第 7 ブロック	養徳館 (岡山県)	鬼倉道場 (千葉県)	共栄館道場 (新潟県)	練兵館 (栃木県)
第 8 ブロック	緑苑剣道少年団 A (岐阜県)	萌木剣道教室 A (東京都)	大阪剣武館 (大阪府)	豊野町少年剣道クラブ A (長野県)

空手道

8月1日開催

小学1・2年生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 B (東京都) 全日本空手道一友会 A (東京都)	清空会 (埼玉県) 如水会川崎 (神奈川県) 憲武館八尾 (大阪府) 正武館空手道場 B (東京都) 川口空手アカデミー (埼玉県)
優良賞	鴻志会養正館 A (静岡県)
全日本空手道連盟剛柔会誠明館 B (神奈川県) NPO 日本教育空手協会 A (宮城県)	鴻志会養正館 B (静岡県)
敢闘賞	全日本空手道 志空会 B (神奈川県)
国立会 B (東京都) 拳心会 荒川 (東京都) 武秀館 (東京都) 宮代空手スポーツ少年団 (埼玉県)	

小学3・4年生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 A (東京都) 全日本空手道一友会 B (東京都)	正武館空手道場 (東京都) 多摩スポーツセンター (東京都) 剛柔流空手道勝山会 (千葉県) 日本空手道泊親会川崎 A (神奈川県) 川口空手アカデミー A (埼玉県)
優良賞	鴻志会養正館 C (静岡県)
鴻志会養正館 A (静岡県) 空手道一心塾 (千葉県)	鴻志会養正館 B (静岡県)
敢闘賞	全日本空手道連盟剛柔会 誠明館 D (神奈川県)
葉山町空手道協会 A (神奈川県) 蒼鷹会 空手道教室 A (東京都) 五誓会東灘 (兵庫県) 英空会 B (神奈川県)	

小学5・6年生の部

優秀賞	努力賞
正武館空手道場 B (東京都) 全日本空手道一友会 A (東京都)	川口空手アカデミー B (埼玉県) 多摩スポーツセンター (東京都) 空手道拳志会 B (東京都) 昇政塾 B (千葉県) 清原空手道スポーツクラブ A (栃木県)
優良賞	茂原武道館 (千葉県)
全日本空手道一友会 B (東京都) 全日本空手道 志空会 A (神奈川県)	日本空手道黎明会大和支部 (神奈川県) 川口空手アカデミー A (埼玉県)
敢闘賞	
全日本空手道連盟剛柔会 誠明館 D (神奈川県) 五誓会東灘 (兵庫県) 正武館空手道場 A (東京都) 泊親会 正真館 C (静岡県)	

中学生の部

優秀賞	努力賞
全日本空手道一友会 B (東京都) 全日本空手道一友会 A (東京都)	拳勝館六会支部 (神奈川県) 剛柔会相模館 A (神奈川県) 日本空手道明光館 (神奈川県) 正武館空手道場 A (東京都) 剛柔館本部道場 (静岡県) 正武館空手道場 C (東京都)
優良賞	日本空手道場会川口マシ空手クラブ A (埼玉県)
結城誠和塾 A (茨城県) 全日本空手道連盟剛柔会 誠明館 B (神奈川県)	武秀館 (東京都)
敢闘賞	
正武館空手道場 B (東京都) 原市場 松濤会 A (埼玉県) 憲武館八尾 (大阪府) 正武館空手道場 D (東京都)	

柔道

8月2日開催

	優秀賞	優良賞	敢闘賞
第1ブロック (高学年)	二見少年柔道クラブ (兵庫県)	五十嵐道場 (埼玉県)	守口東部少年柔道教室 (大阪府) 誠錬館 (茨城県)
第2ブロック (高学年)	相武館吉田道場 (神奈川県)	ニュージャパン柔道クラブ (大阪府)	土曜柔道会 (兵庫県) 川口道場 (福井県)
第3ブロック (高学年)	古賀塾 (神奈川県)	朝飛道場 (神奈川県)	羽田野道場 (愛知県) 土浦市体育協会柔道部 (茨城県)
第4ブロック (高学年)	無心塾飯島道場 (茨城県)	五所川原柔道少年団 (青森県)	春日柔道クラブ (東京都) 克己塾 (長野県)
第5ブロック (低学年)	古賀塾 (神奈川県)	弥刀少年柔道クラブ (大阪府)	内郷柔道塾スポーツ少年団 (福島県) やなせ柔道会 (栃木県)
第6ブロック (低学年)	二見少年柔道クラブ (兵庫県)	佐藤道場 (群馬県)	土曜柔道会 (兵庫県) 新田柔道スポーツ少年団 (群馬県)
第7ブロック (低学年)	松前柔道塾 (東京都)	稲沢柔道会 (愛知県)	無心塾飯島道場 (茨城県) つくばユナイテッド柔道 (茨城県)
第8ブロック (低学年)	朝飛道場 (神奈川県)	五十嵐道場 (埼玉県)	川口市柔道連盟クラブ (埼玉県) 田島道場 (群馬県)

演技競技の部

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学1・2年	奥住遥風・齋藤侃駿 (会津なぎなたスポーツ少年団)	柴田 恵・石垣朋夏 (多賀城なぎなた連盟)	菅野未桜・佐渡ひより (瑞穂なぎなたスポーツ少年団)	小砂見歩叶・飯島花成 (和歌山武道館なぎなたクラブ)
小学3・4年A	村田かなで・城間こころ (友愛クラブ)	木村真唯・二方琉綺 (横須賀なぎなた協会)	大森 楓・伊坂冬萌花 (武陵館中嶋道場)	長嶋春優・山田恵生 (瑞穂なぎなたスポーツ少年団)
小学3・4年B	田口菜奈子・堺 歩梨 (大和郡山市なぎなた連盟)	坂上祐輝・阿比留月乃 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	船木 玲・野村茉央 (三重武道館クラブ)	片桐麻那・寺田涼香 (奈良市なぎなた連盟)
小学5・6年A	田村花香・鈴木萌々花 (榴岡なぎなた教室)	櫻庭 彩・長嶋姫那 (幕張なぎなたスポーツ少年団)	石塚千晶・大塩未緒 (奈良市なぎなた連盟)	國弘花樹子・大場理子 (奈良市なぎなた連盟)
小学5・6年B	石井大登・飯島萌歌 (和歌山武道館なぎなたクラブ)	片山真那・加藤美沙 (愛知県なぎなた連盟豊川支部)	飯田美幸・宮本麻帆 (公益財団法人修武館)	岸野莉子・高井杏純 (豊島区なぎなた連盟)
小学5・6年C	干場海頼・小松萌香 (奈良市なぎなた連盟)	宮崎真由香・鯨岡英恵 (大田区なぎなた連盟)	橋垣苺佳・太田さやか (鳥根県なぎなた連盟)	山下玲奈・長井咲樹 (満濃なぎなたスポーツ少年団)
中学A	川口実結・高橋桃花 (山形二中なぎなたクラブ)	武田望愛・梅津梨菜 (山形市立第四クラブ団)	大矢汐莉・鈴木玲奈 (南砺市立福野中学校なぎなた部)	鈴木玲菜・宮部ひかる (山形市立第七クラブ)
中学B	鈴木柚子・富岡志織 (文化学園大学杉並中学校なぎなた部)	齋藤啓佑・佐藤佳依 (会津なぎなたスポーツ少年団)	作家陽向・林 舞香 (南砺市立福野中学校なぎなた部)	柴田弥優羽・柴田寿咲 (一戸町立一戸中学校)
中学C	仲原菜月・細江美有果 (弥富市なぎなた連盟)	落合凜星・伊東歩花 (稲生クラブ)	大西未紘・篠原佳琴 (高松市立桜町中学校)	藤田茉欧・吉村野依 (鯖江市立中央中学校)
中学D	古川初希・黒澤真衣 (会津なぎなたスポーツ少年団)	吉田幸穂・向川茉彩 (南砺市立福野中学校なぎなた部)	高橋 希・岩崎ナオ (文化学園大学杉並中学校なぎなた部)	白岩 桜・高橋優芽 (会津なぎなたスポーツ少年団)
中学E	宇佐美妃那乃・佐々木京香 (福井なぎなたクラブ)	中嶋澄花・織田千尋 (福井なぎなたクラブ)	小池桃李・山中美季 (都立富士高等学校附属中学校)	猪俣朋花・藤沼千裕 (会津なぎなたスポーツ少年団)
中学F	石垣綾香・菅原千桜 (秀光中等教育学校)	坂上晴紀・浪江紗希 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)	服部倅奈・町田有香奈 (弥富市なぎなた連盟)	中島柚菜・武田夏海 (一戸町立奥中山中学校)
中学G	若松 舞・山田真緒 (弥富市なぎなた連盟)	橋本 萌・切刀香葉 (甲斐市立玉幡中学校なぎなた部)	白井一花・長森瑞生 (満濃中学校)	猿山綾花・秋田結衣 (神奈川大学附属中学校)
中学H	赤羽美音・佐藤菜奈 (弥富市なぎなた連盟)	上村友梨佳・山火萌乃佳 (一戸町立一戸中学校)	近藤花菜・鈴木悠理愛 (榴岡なぎなた教室)	高島都加・田邊 涼 (鯖江市立中央中学校)

試合競技の部

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学3年	高田愛稀 (公益財団法人修武館)	西村彩良 (やまびこなぎなたスポーツ少年団)	川瀬皐月 (京都なぎなたクラブ)	寺本春葉 (鳥根県なぎなた連盟)
小学4年	城間こころ (友愛クラブ)	村田かなで (友愛クラブ)	堺 歩梨 (大和郡山市なぎなた連盟)	南原小夜乃 (和歌山市雄湊なぎなたクラブ)
小学5年	神山美完 (北条なぎなたスポーツ少年団)	石塚千晶 (奈良市なぎなた連盟)	橋垣苺佳 (鳥根県なぎなた連盟)	渡邊小暖 (富士市なぎなた連盟)
小学6年	片山真那 (愛知県なぎなた連盟豊川支部)	長嶋姫那 (幕張なぎなたスポーツ少年団)	水尻祥子 (みたけなぎなたスポーツ少年団)	阿比留紗月 (伊丹スポーツセンターなぎなた教室)
中学1年	安藤鈴華 (養徳館)	相葉有里花 (奈良市なぎなた連盟)	服部千夏 (福井なぎなたクラブ)	窪田妃那 (武陵館中嶋道場)
中学2年	山根千慶 (養徳館)	落合凜星 (稲生クラブ)	大岡 瞳 (満濃中学校)	金野 碧 (江東区なぎなた連盟)
中学3年	佐藤菜奈 (弥富市なぎなた連盟)	織田千尋 (福井なぎなたクラブ)	山崎莉奈 (福井なぎなたクラブ)	瀧口麻衣 (福井なぎなたクラブ)
小学男子3・4年	高山清玄 (中野区なぎなた連盟)	高田 瞬 (身延なぎなたスポーツ少年団)	女ヶ澤綜磨 (一戸町なぎなた協会)	金野天真 (江東区なぎなた連盟)
小学男子5・6年	高村睦仁 (佐倉市なぎなた連盟)	大沼怜史 (奈良市なぎなた連盟)	南館日奈太 (一戸町なぎなた協会)	矢島滉太郎 (つくばなぎなたクラブ)
中学男子	齋藤啓佑 (会津なぎなたスポーツ少年団)	赤羽愛翔 (松本市田川なぎなたスポーツ少年団)	佐藤幸久 (近畿大学附属新宮中学校)	落合 峻 (富士市なぎなた連盟)

銃剣道

8月5日開催

団体試合錬成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学5・6年生	滋賀県選抜（滋賀県）	本間道場（神奈川）	春光銃剣道クラブ（北海道）	勝北銃剣道クラブ（岡山県）
中学生	名寄ピヤシリ銃剣道少年団A（北海道）	滋賀県選抜（滋賀県）	大村銃剣道少年クラブ（長崎県）	滋賀今津銃剣道スポーツ少年団（滋賀県）

銃剣道個人試合錬成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学1年生	松本来夢（春光銃剣道クラブ）	宮田淳生（千歳少年クラブ）	近藤なな子（元氣道場）	小池健太（元氣道場）
小学2年生	中山結愛（滋賀今津少年団）	白木優敬（掛川銃剣道連盟）	滝沢柊士（元氣道場）	徳丸竜晟（名倉銃剣道クラブ）
小学3年生	田中優羽（九徳塾）	柴田拓海（九徳塾）	細川楓河（小奴可剣友会）	植村将大（本間道場）
小学4年生	平松望奈（本間道場）	山内諒介（伊勢原）	村上椋（山口県ジュニアクラブ）	西丸穂乃花（春光銃剣道クラブ）
小学5年生	渡辺星雅（七ヶ浜少年団）	高橋凌平（元氣道場）	松本羽響（春光銃剣道クラブ）	児玉歩夢（春光銃剣道クラブ）
小学6年生	岩淵咲也（春光銃剣道クラブ）	飯塚蓮（紫波銃剣道クラブ）	南條光希（勝北銃剣道クラブ）	斑目穂高（須賀川少年団）
小学5・6年生 女子	澤田菜々花（伊勢原）	中山鈴嵐（滋賀今津少年団）	松本奈衣瑠（滋賀今津少年団）	植村珠季（本間道場）
中学1年生	堀口響（名寄ピヤシリ少年団）	潮海斗（春光銃剣道クラブ）	今井文蒔（名倉銃剣道クラブ）	柴田裕次郎（松戸練成館）
中学2年生	渡辺泰雅（七ヶ浜少年団）	安藤直斗（香川ジュニアクラブ）	山本輝（岐阜県選抜）	今勇仁（滝川少年銃剣道）
中学3年生	寒河江優斗（名寄ピヤシリ少年団）	山口楓太（大村少年クラブ）	高田椎（名寄ピヤシリ少年団）	田中真太郎（九徳塾）
中学生女子	澤田夢花（伊勢原）	澤田百花（伊勢原）	寒河江瑞希（名寄ピヤシリ少年団）	柴原幸佳（本間道場）

短剣道個人試合錬成

学 年	優秀賞	優良賞	敢闘賞	
小学1・2年生	山本好古（練馬スポーツ少年団）	岩籥柚乃（紫波銃剣道クラブ）	中山結愛（滋賀今津少年団）	松本来夢（春光銃剣道クラブ）
小学3・4年生	平松望奈（本間道場）	田中陽平（瑞穂市総合クラブ）	坂井夢空（滋賀今津少年団）	東叶夢（千歳少年クラブ）
小学5・6年生	澤田菜々花（伊勢原）	岸晃生（本間道場）	大場愛紗（千歳少年クラブ）	児玉聖矢（春光銃剣道クラブ）
中学生	渡邊文章（細郷中学校）	小川愛美（博真館）	高田柊（名寄ピヤシリ少年団）	小田切瑠璃（博真館）



《自由組演武》

◆中学生有段の部

櫻井さくら・櫻井かえで（栃木・栃木瑞穂道院拳友会）鈴木拳太郎・出牛悠紀（埼玉・入間藤沢道院拳友会）石井もも・後藤じかり（千葉・市原南スポーツ少年団）秋葉美玖・鳥飼智美（千葉・千葉海匠道院拳友会）高橋右京・松田大毅（千葉・大日道院拳友会）村松裕介・長谷川照家（東京都・東京錦糸道院拳友会）清水夏海・清水雪菜（東京都・東京東小岩道院拳友会）金子佑哉・関嶺太（神奈川・川崎柿生道院拳友会）古賀優希・池岡由起（神奈川・小田原道院拳友会）大田理佐・西瀧菜由（石川・石川根上スポーツ少年団）畑山潤介・上本一希（石川・能登宝達山スポーツ少年団）吉田龍生・吉田祈代（岐阜・岐阜可児道院拳友会）遠藤健太郎・遠藤伸太郎（静岡・富士裾野スポーツ少年団）牧村真由菜・山口葉名（愛知・名古屋植田道院拳友会）森井悠来・高木海斗（京都・伏見丹波橋スポーツ少年団）長尾竜也・山下航平（兵庫・灘中学校・灘高校少林寺拳法部）辻谷匠・吉田祐介（奈良・王寺道院拳友会）

◆中学生段外の部

鈴木颯太・大川泰寿・江戸野来未・方波見千里（茨城・清真学園少林寺拳法部）高橋秀吉・秋庭潤一（群馬・前橋橋道院拳友会）小山育斗・岩浅隆士（埼玉・朝霞道院拳友会）藤原沙玖弥・武山美紗子（埼玉・草加道院拳友会）菅野葉・井達優佑・勝山弥音・吉開瑛巴（千葉・流山北道院拳友会）筒井駿也・佐藤功和・高瀬恭香・山崎晴菜（東京都・立川第七中学校）陶山絹香・増山朋華・武井理沙・三森菜々香（東京都・早稲田実業）木口桃華・柳原史佳・和田輝・筒井大翔・中村美来・遠藤直・山下愛・土屋美葉（東京都・早稲田実業）鈴木絵梨佳・植田陽翔（東京都・南中野道院拳友会）水野雅文・山岡勇太（東京都・東京錦糸道院拳友会）川島かなれ・宮崎新菜（東京都・富士見丘学園）芹田柊希・田中智也（神奈川・川崎柿生道院拳友会）須藤悠太・中村航一朗（神奈川・海老名東道院拳友会）竹内百笑・清水瑠偉（神奈川・伊勢原道院拳友会）野崎琴乃・北澤歩奈（愛知・名古屋伏屋道院拳友会）鈴木湧太・牛田敏弘（愛知・名古屋宝南道院拳友会）磯尾定伸・宮地優祈（愛知・日進南道院拳友会）

◆小学生有段の部

荒川重満・小川大和（青森・八戸岬道院拳友会）高橋哲哉・船山友菜（秋田・秋田湯沢スポーツ少年団）鈴木魁人・会田柊斗（福島・白河道院拳友会）松本大智・中村勇陽（埼玉・熊谷道院拳友会）大川七美・大川優羽（千葉・千葉海匠道院拳友会）荊原逸斗・橋本翔（東京都・東京東陽町道院拳友会）日光駿太・土本拓実（石川・石川根上スポーツ少年団）中田暮翼・牧村斗偉・川村元洋・山口創司（愛知・名古屋太子道院拳友会）大山葵・南部琴子（和歌山・南部スポーツ少年団）

《単独基本演武》

◆小学生4級の部

島田瑞穂（群馬・群馬北毛道院拳友会）鈴木靖乃（埼玉・入間藤沢道院拳友会）岡村紅音（千葉・習志野台スポーツ少年団）吉野葉（千葉・千葉清見台道院拳友会）前原摩隼人（東京都・東京錦糸道院拳友会）楠松明榮（東京都・練馬道院拳友会）桑島直暖・桑島直優（長野・松本美ヶ原スポーツ少年団）後藤幸志（静岡・富士西道院拳友会）鈴木漣和（三重・津中央道院拳友会）徳永将都（奈良・奈良中央道院拳友会）大野晃太郎・松本莉奈・庄司有沙（和歌山・南部スポーツ少年団）

◆小学生6級～5級の部

千葉真綾・樋口誠一郎（宮城・青葉道院拳友会）藤田拓朗（福島・福島鯉川道院拳友会）秋山浩克（茨城・波崎スポーツ少年団）島杏菜（茨城・鹿島港南スポーツ少年団）田崎達太（栃木・栃木瑞穂道院拳友会）石飛樹（群馬・上州白根道院拳友会）坂本眺基（群馬・渡良瀬道院拳友会）内山穂乃佳（群馬・群馬北毛道院拳友会）三上桜愛・三上拓真（埼玉・入間藤沢道院拳友会）井出煌火・吉野孝規（埼玉・川口道院拳友会）小川隼（埼玉・埼玉久喜道院拳友会）緑川慎弥（千葉・千葉富来田道院拳友会）岡村昌信（千葉・習志野台スポーツ少年団）鈴木出海・山崎聡大（千葉・木更津岩根道院拳友会）小林清紗（千葉・千葉清見台道院拳友会）小菅陽太（千葉・流山北道院拳友会）霜島若菜（千葉・大日道院拳友会）千葉大翔（東京都・東京月島道院拳友会）長野茜（東京都・東京東陽町道院拳友会）稲毛風斗（東京都・久米川道院拳友会）川島成央（神奈川・下溝スポーツ少年団）横野向日葵（山梨・郡内富士スポーツ少年団）古橋希翁・野崎祐生（愛知・名古屋伏屋道院拳友会）西塚百花（愛知・名古屋太子道院拳友会）古村春奈（愛知・日進南道院拳友会）野田藍里（三重・津中央道院拳友会）中井雪華（兵庫・尼崎北道院拳友会）岩井研祐（奈良・奈良中央道院拳友会）中内洋希・片岡大輝（和歌山・南部スポーツ少年団）浪越遼平（香川・本部道院拳友会）

◆小学生見習い～7級の部

山内隆豪・山内優奈（宮城・青葉道院拳友会）藁谷太佑（福島・福島双葉道院拳友会）山本遥音（茨城・波崎スポーツ少年団）橋本菜奈（茨城・鹿島港南スポーツ少年団）小沼陸斗・川又煌大（茨城・水戸スポーツ少年団）吉田竜生（栃木・栃木足利道院拳友会）石川惺己（群馬・群馬多々良道院拳友会）小淵銀太（群馬・渋川道院拳友会）岩田悠之介・須貝悠矢（群馬・前橋橋道院拳友会）秋谷実紀（埼玉・埼玉川島道院拳友会）石井そら・齊藤匠（埼玉・埼玉神川スポーツ少年団）佐藤聖紗（千葉・木更津岩根道院拳友会）角田諒（千葉・千葉海匠道院拳友会）白石一翔（千葉・大日道院拳友会）大橋琉星（東京都・東京平井道院拳友会）大亀桃太郎（東京都・東京月島道院拳友会）藤原祥真・原島悠豪・蟹江玲応（東京都・東京東陽町道院拳友会）中山煌晟（東京都・久米川道院拳友会）牛山響（東京都・多摩桜ヶ丘道院拳友会）大下藍（東京・成増北道院拳友会）幸村はる菜・中村夕夏（神奈川・海老名東道院拳友会）河野友希（神奈川・神奈川嶽之内道院拳友会）池内世蓮（神奈川・綾瀬深谷道院拳友会）鈴木飛来（山梨・郡内富士スポーツ少年団）齋藤遥斗（愛知・石ヶ瀬道院拳友会）古橋文彩（愛知・名古屋伏屋道院拳友会）和田ゆりあ（愛知・ティップネス江南少林寺拳法部）箕輪亨（奈良・大和桜井道院拳友会）金田耕育（奈良・奈良中央道院拳友会）大江惇斗（和歌山・南部スポーツ少年団）

《団体の部》

◆中学生の部

前田桃花・圓井空志・小松有里・藤田琉那・圓井経佑・塩田和也（福島・福島鯉川道院拳友会）松原由佳・櫻井美佐希・大原彩乃・鬼澤美結・土居咲也佳・三次玲子（茨城・清真学園少林寺拳法部）武部周・山本雅貴・福井晴士郎・岡田凜・森下夏・小南雪乃（京都・伏見丹波橋スポーツ少年団）

◆小学生の部

宮嶋晴・島正晴・遠藤悠真・菊地弥弥・浅野純光・島啓祐（茨城・鹿島港南スポーツ少年団）永井大喜・濱田嘉入・佐藤叶多・黒坂啓太・武井春樹・大野麻琴（東京都・町田南道院拳友会）古田詩真・古田真菜・安田丈二・矢野愛理・中野翔悟・古川鈴菜（愛知・豊明東道院拳友会）松本梨沙・伊原稜亮・林和花・岡本秋実・市光光音・三原碧音・加藤大雅・三原瑞久（愛知・豊明東道院拳友会）高橋羽流生・辻川祐太郎・若城大輝・森本光昭・宮下紅音・田澤昌玖（京都・伏見丹波橋スポーツ少年団）岡田瞭・中村湧・勢子杏樹・武部鑑・吉田拓真・松本幸大（京都・伏見丹波橋スポーツ少年団）中家寛太・杉本怜平・泰地音羽・新谷萌・民野愛実・上野拓海・中川翔友・山下大和（和歌山・南部スポーツ少年団）

少林寺拳法

—＜優秀賞＞—

8月8日開催

《規定組演武》

◆小学生1級

小沢泰聖・溝口千乃（青森・八戸岬道院拳友会）赤間のか・熊木聖太（宮城・多賀城城南道院拳友会）飯沼奏音・都澤拓真（宮城・青葉道院拳友会）深谷真太郎・渡邊和瑞（福島・白河東道院拳友会）萩原小紀菜・城田悠基（群馬・前橋中部道院拳友会）原光咲樹・天田明里（群馬・群馬多々良道院拳友会）宇貫航平・岩崎遥人（群馬・前橋橋道院拳友会）工藤優月・石井彩名（群馬・群馬富岡道院拳友会）松島光佑・益子竜成（群馬・渡良瀬道院拳友会）小見一真・内山翔太・小田切紗羅・角田大知（群馬・群馬北毛道院拳友会）関根幸志・新井一矢（埼玉・埼玉三ヶ島道院拳友会）須永カオル・山崎彩乃（埼玉・埼玉藤久保道院拳友会）浜川晴愛・窪田草太郎（埼玉・埼玉川鶴道院拳友会）天野瑛斗・山崎泰陽・徳永文奈・初芝光貴（千葉・大田道院拳友会）川辺さくら・成瀬もも（千葉・千葉おゆみ野スポーツ少年団）本間凜・本間蓮（東京都・東京東陽町道院拳友会）山岡天道・富永真杜（東京都・東京田無道院拳友会）佐藤幹仁・内山寿安（東京都・東京錦糸道院拳友会）高橋千聖・西ノ村孔南（東京都・東京武術館道院拳友会）関峻作・島脇義人（神奈川・川崎柿生道院拳友会）大貫和琉・星柚希（神奈川・横浜賀衣笠道院拳友会）富塚敦貴・豊嶋魁星（神奈川・川崎東道院拳友会）佐々木瀬風・荻野愛子（神奈川・神奈川大和道院拳友会）山崎紗愛・小倉宏志（福井・福井新田塚道院拳友会）甲田琉那・北沢都夢（長野・丸子スポーツ少年団）小川嵐斗・尾関結翔（岐阜・各務原中央スポーツ少年団）大須賀玲人・大庭夏音（愛知・デンソー少林寺拳法部）政田啓希・石田俊裕（愛知・名古屋植田道院拳友会）吉水友佑・杉浦写弥武（愛知・名古屋太子道院拳友会）鈴木明正・中村創太（和歌山・南紀熊野スポーツ少年団）河原真二・御宮知大貴・古谷佳大・深津快瑠（奈良・大和郡山南道院拳友会）

◆小学生2級

大沢諒亮・清水麗（青森・八戸岬道院拳友会）沼倉未磨・佐々木陸志・瀧澤朋哉・佐藤賢斗・杜悠風・佐々木琉汰（秋田・秋田湯沢スポーツ少年団）荒井天斗・田邊隆志（千葉・木更津岩根道院拳友会）田邊光聖・小幡心之介（東京都・東京築地道院拳友会）松井達哉・鹿岡真貴（静岡・浜名新居道院拳友会）水本翔・鈴木權人（三重・津中央道院拳友会）小西杏奈・畑野結月（和歌山・南部スポーツ少年団）横山陽一・横山智士（香川・琴弾スポーツ少年団）

◆小学生3級

白崎大雅・上野夕希（群馬・前橋中部道院拳友会）須藤新史・黒崎大地（群馬・上州白根道院拳友会）島田祥太郎・藤井葉衣樹（群馬・群馬北毛道院拳友会）金子海舞・岡部志音（東京都・八王子陵北スポーツ少年団）里見銀之丞・増田和真（東京都・東京武術館道院拳友会）島海優輝・森井将紘（神奈川・小田原道院拳友会）柴田蒼星・柴田珀曜（岐阜・多治見青龍道院拳友会）箕輪匡・西村蓮（奈良・大和桜井道院拳友会）山田草土・箕輪秀人（奈良・大和桜井道院拳友会）寺本陽・山本一颯（奈良・王寺道院拳友会）

◆小学生4級

今村慎・平野健人（宮城・青葉道院拳友会）北尾基伎・大住大地（茨城・茨城阿見道院拳友会）古賀愛依子・山田一翔（茨城・茨城つくば道院拳友会）大角忠靖・岩田朋太郎・山宮悠暉・清水亮佑（群馬・前橋橋道院拳友会）平岡琉果・高橋鈴音菜（埼玉・埼玉北鴻巣道院拳友会）岡田元気・岡田武士（埼玉・熊谷道院拳友会）原山大地・林真歩・本多陸・宮永颯太・三尾康介・半田幹・坂東弘太郎・半田葉実・大戸拓知・尾宮颯馬（埼玉・朝霞道院拳友会）松浦直輝・松丸唱平（千葉・我孫子道院拳友会）大川優衣・角田正人（千葉・千葉海匠道院拳友会）押本仁・平井偉琉（東京都・東京田無道院拳友会）齋田智成・箱田悠利（東京都・東京錦糸道院拳友会）岡田孝太・岡田翔平（東京都・板橋菩提樹道院拳友会）高見爽汰・島田匠（東京都・東京武術館道院拳友会）小保田佳佑・南緑仁・神田咲哉・大室蓮（神奈川・川崎柿生道院拳友会）橋葉優誠・山本薫（神奈川・伊勢原道院拳友会）石合祈羅・立花日菜実（神奈川・海老名道院拳友会）室井翔羽・鈴木健基（静岡・伊豆釜山道院拳友会）廣瀬凱・渡辺秋斗（愛知・名古屋太子道院拳友会）泰地桜佑・畑垣紫（和歌山・南部スポーツ少年団）

◆小学生5級

高谷海帆・伊藤実羽（宮城・青葉道院拳友会）飯塚葵・飯塚日向（群馬・群馬富岡道院拳友会）井上結友・清水杏虹（埼玉・朝霞道院拳友会）久保田慎之介・櫻井亜美（埼玉・埼玉神川スポーツ少年団）伊藤綾音・臼井絵梨奈（千葉・市原市津スポーツ少年団）岡田もえな・岡田蒼樹（千葉・千葉清見台道院拳友会）天野佑哉・白石大晃・織田一希・栗田陸（千葉・大田道院拳友会）加藤かれん・大竹優青（東京都・東京辰巳道院拳友会）小澤海風・橋本盛太郎（東京都・八王子西道院拳友会）児玉亮司・平塚翔（神奈川・小田原道院拳友会）川合琉也・服部瑠起（愛知・名古屋太子道院拳友会）主藤百華・松本澤音（奈良・奈良東市スポーツ少年団）

◆小学生6級

広部裕大・安藤春希（千葉・我孫子道院拳友会）佐伯昊太郎・新名修（千葉・浦安舞浜スポーツ少年団）白石有祐美・三ツ木彩乃（東京都・東京足立東道院拳友会）小俣悠一朗・田代竜輝・橋本穂菜美・長野寛大（東京都・八王子西道院拳友会）今井聖人・古賀陽樹・山口藍奈・名取彩（神奈川・小田原道院拳友会）橋本美侑・宇佐美愛莉（神奈川・横浜緑園道院拳友会）吉岡悟・江成爽（神奈川・川崎東道院拳友会）樋本琴音・福井楽人（長野・長野南スポーツ少年団）服部瑠璃・八田真桜（愛知・名古屋太子道院拳友会）坂本結彩・堀口叶愛・庄司悠真・中井達貴・大江里佳・大川菜々々（和歌山・南部スポーツ少年団）

◆小学生見習い〜7級

戸塚大耀・山内悠楽（宮城・青葉道院拳友会）瀧澤駿哉・竹内平・古関瑠珂・竹内琳々（秋田・秋田湯沢スポーツ少年団）川端一徹・内埜聖也（茨城・波崎スポーツ少年団）大根田優希・福嶋哉翔（茨城・取手市スポーツ少年団）柴山智哉・木幡泉希（埼玉・新座金剛道院拳友会）小林大晟・太田柚乃（埼玉・東松山スポーツ少年団）高橋裕樹・宇田川太悠・小澤夏希・畠山連太郎・小澤康之介・佐藤幸太郎（埼玉・朝霞道院拳友会）清水美佑・進藤龍一（埼玉・埼玉神川スポーツ少年団）大津光輝・松澤弘翔・作村正太郎・尾下優斗・石川れみ香・富田穂乃香（埼玉・草加道院拳友会）山下茉莉・浜川陽愛（埼玉・埼玉川鶴道院拳友会）宮崎大翔・宮崎龍大（千葉・西船橋道院拳友会）安藤琥斗輝・安藤瑠衣那（千葉・千葉袖ヶ浦道院拳友会）野口心乃助・山崎幸之助（千葉・我孫子道院拳友会）井達優吾・河原壮汰（千葉・流山北道院拳友会）初芝そら・増田英（千葉・大田道院拳友会）小川雪乃・小森千花・中澤樹生（東京都・八王子松枝道院拳友会）川崎剛太・矢口翔太（東京都・東京田無道院拳友会）川村允悠・川村鷹之将（東京都・東京辰巳道院拳友会）小出颯大・原郷良太郎（東京都・東京錦糸道院拳友会）中平力輝・矢吹劉大（東京都・練馬道院拳友会）竹久保皓也・柿崎亜門（神奈川・足柄中井道院拳友会）山口凜太郎・関野ライカ・久保りんか・荘司星華・倉橋明久・石田晃希（神奈川・足柄中井道院拳友会）吉田創達・南祐惺（神奈川・川崎柿生道院拳友会）平野陸斗・湯川寧（神奈川・小田原道院拳友会）今津龍斗・今津未来（神奈川・横須賀衣笠道院拳友会）高島健宏・石川大悟（神奈川・慶應義塾）齋藤葵・一条悠吏（神奈川・川崎西道院拳友会）沼内結宇・柳本杜亮（神奈川・海老名国分道院拳友会）菊池一・小島武琉（神奈川・伊勢原道院拳友会）五島晃樹・高橋茉苗（神奈川・綾瀬深谷道院拳友会）岡健太・市村慧悟（新潟・新潟湊道院拳友会）大橋優翔・佐藤凜之輔（新潟・栃尾道院拳友会）鹿島田優貴・葛西泰馳（愛知・名古屋植田道院拳友会）牧村一生・平山航也（愛知・名古屋太子道院拳友会）中井亮輔・室井良太・大川綾斗・片岡千佳（和歌山・南部スポーツ少年団）

●最新刊

漫画家・
別府大学教授

田代しんたろう 著

マンガ・武道の偉人たち

武道の基礎を築いた偉人たちの生涯を描く！



B5判・302頁・本体1000円＋税

月刊「武道」誌上で好評連載中の「マンガ・武道のすすめ」。

人気を博した「武道の偉人」シリーズが単行本化！

柔道・剣道・弓道・相撲・空手道・合気道・少林寺拳法・なぎなた・銃剣道の現代武道9道の普及・発展に尽力した偉人たちの生涯を通じて、各道の歴史をひも解きます。

大人も子供も楽しく読んで、歴史も学べる武道教養マンガ。



収録偉人一覧

嘉納治五郎(柔道) 高野佐三郎(剣道) 阿波研造(弓道) 双葉山(相撲)
船越義珍(空手道) 植芝盛平(合気道) 宗道臣(少林寺拳法)
園部秀雄と美田村千代(なぎなた) 鶴沢尚信(銃剣道)

編集・発行 公益財団法人日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ！

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158

山神眞一 著

(香川大学教授・同学部長、医学博士、剣道教士八段)

役に立つ少年剣道指導法

少年剣道指導の現場で役に立つ月刊「武道」好評連載を単行本化。
現代の少年剣道が抱える様々な問題点に対して、長年教育現場で培った筆者の視点から解決の糸口を探っていく。少年剣道指導者必読の一書。
付録のDVDには、写真では伝え切れなかった実技関連の部分を収録時間1115分を超える映像で紹介。

最新刊

解説DVD付属!



A5判・並製・
256頁・DVD付・
本体2400円＋税

目次

第一章 一眼／子どもと少年剣道の今を眼る
現代の子どもの体と心を見つめ直す／少年剣道の現状と課題／少年剣道に対する保護者の声

第二章 一足／少年剣道の足跡とこれから

現代剣道復活の道程とこれからの少年剣道／剣道の国際化と少年剣道の未来／少年剣道拡大の秘密を探る

第三章 三胆／指導者の胆力を求めて

少年剣道における指導者の在り方／文武両道と少年剣道／コミュニケーション力と人材育成の極意

第四章 四力／技の力を学ぶ

剣道のアイズブレイキング／礼法について／立礼と座礼／木刀・竹刀を使用した構えと素振りの対人的指導法／切り返しの際的指導法／基本打突の打ち方と打たせ方／連続技の打ち方と打たせ方／払い技の打ち方と打たせ方／引き技の打ち方と打たせ方

第五章 残心

海外での剣道事情／中学校における剣道授業あとかき

編集・発行 公益財団法人 日本武道館

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
ホームページ <http://www.nipponbudokan.or.jp>

お問い合わせ・ご注文は
日本武道館出版広報課
までどうぞ!

TEL03(3216)5147
FAX03(3216)5158